

平成21年度・22年度

事業紹介



協働事業 & 市民活動助成事業

松戸市 協働推進課

はじめに

安心・安全なまち、緑の多いまち、子育てしやすいまち、お年寄りにやさしいまちなど、“市民誰もが暮らしやすいまち”これは、私たち誰もが願うまちの姿だと思われます。

松戸市では、平成 19 年 7 月に「協働のまちづくり条例」を施行しました。この条例では、まちを構成する様々な主体が、目的、目標を共有し、協力・連携しながらまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」を推進することで、『誰もが暮らしやすい松戸市』の実現を目指しています。

このようなまちの姿を実現していくためには、市民だけ、行政だけではなく、市民や市職員の一人ひとりが、まちづくりの一員として地域課題に関心を持ち、その解決に向けた活動に取り組むことが必要となります。そのため市では、地域課題の解決に自発的に取り組む市民活動を支援すること、また、それらの活動と市の行政活動が、一緒に地域課題の解決に取り組む協働事業を推進することを施策の柱に掲げ、市民活動助成制度及び協働事業提案制度を創設、施行するとともに、庁内や市民の皆様これら制度の普及、活用を図ってきました。

平成 19 年度に制度を施行して以来、3 年が経過しました。お蔭様をもちまして、これら制度には、これまで様々な分野の市民活動団体の皆さんから、多くの提案をいただいております。この 3 年間で、市民活動助成制度には計 33 件、協働事業提案制度には計 51 件もの事業提案をいただき、そのうち、市では市民活動助成制度で 29 事業、協働事業提案制度で 34 事業を採択させていただきました。これまでの採択事業としては、福祉や教育に関する事業から地域コミュニティに関する事業まで、様々な分野で活動が広がっています。

このたびの事業紹介冊子では、このうち、平成 21 年度事業及び平成 22 年度事業の取り組みを紹介させていただいております。市民の皆さんには、これらの取り組みを知ってもらうことで、地域課題やまちづくりへの関心を高め、まちづくりに参加していただくことを期待するものです。

“市民誰もが暮らしやすい松戸市”の実現に向けた、様々な取り組みをご覧ください。今後とも、協働のまちづくりへのご理解、ご協力をお願いします。

平成 22 年 5 月

松戸市 市民担当部 協働推進課長 佐藤 亮一

目 次

○平成21年度事業の取り組み	P. 1
協働事業	P. 2 ~ P. 12
市民活動助成事業	P. 13 ~ P. 20
○平成22年度事業の取り組み	P. 21
協働事業	P. 22 ~ P. 27
市民活動助成事業	P. 28 ~ P. 42

(平成21年度事業の取り組み)

協働事業

事業名50音順

事業名	団体名 事業担当課	頁
外国人の子ども支援事業	NPO法人外国人の子どものための勉強会 市民環境本部 企画管理室	P.2
キッズイノベーション事業	特定非営利活動法人サイエンスシャワー 生涯学習本部 企画管理室	P.3
「協働イベントの作り方」講座開催事業	NPO法人松戸市民劇団 協働推進課	P.4
子育て支援ネットワークづくり事業	松戸子育てフェスティバル実行委員会 子育て支援課	P.5
子どもへの読書普及活動支援事業	松戸子どもの文化連絡会 図書館	P.6
シニア交流センターにおける生涯学習実施事業	松戸市認定社会教育関係団体やよい会 高齢者福祉課	P.7
市民後見人養成事業(Ⅱ)	NPO法人成年後見センターしぐなるあいず 介護支援課 障害福祉課	P.8
小・中学生向け金銭教育事業	NPO法人おかねの楽校 生涯学習本部 企画管理室	P.9
「地球にやさしい行動宣言」推進事業PART2	アースコン・マツド 環境計画課 減CO2担当室	P.10
松戸子育て情報サイト「まつどあ」ホームページの管理運営事業	特定非営利活動法人松戸子育てさぼーとハーモニー 子育て支援課	P.11
皆でつくる根木内歴史公園事業Ⅱ	根木内歴史公園サポーター(根っ子の会) 公園緑地課	P.12

市民活動助成事業

事業名50音順

事業名	団体名	頁
「映画で寺子屋」事業	小金おやこでえいが会	P.13
子育てパパのともだち作ろう事業	特定非営利活動法人 子育て支援ぼくら	P.14
子育てママ応援！ワタン発見わーくしょっぷ事業	特定非営利活動法人ねばあらんど	P.15
三世代交流「まちなか劇場」事業	NPO法人子どもとまつど	P.16
人材バンク「まつどの先生」プログラム事業	まつど版サポート資源提供システム創る会	P.17
バリア・バリアフリー体験教室・まち探検推進事業	バリアフリーまつど市民会議	P.18
まつど子育て・孫育てガイドブック作成事業	「まつど子育て・孫育てガイドブック」編集プロジェクト	P.19
松戸の女性のあゆみ編纂事業	まつど女性会議	P.20

協働事業

外国人の子ども支援事業	協働事業者	NPO 法人外国人の子どものための勉強会
	事業担当課	市民環境本部 企画管理室

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み	事業費	323,840円
平成21年度の取り組み	自己資金	40,000円
①「講演会—地域で支える外国人の子ども—」 平成21年6月28日(日) 市民会館 講師：佐藤郡衛教授(東京学芸大学)	(労力換算額：250,000円)	
	負担金	283,840円
②「スタッフ養成講座—外国人の子どもに日本語を教えよう!—」 平成21年7月19日(日) 市民会館 講師：井上恵子先生(県教育委員会委嘱研究員)		
③「夏休みにほんご教室—みんないっしょに勉強しよう!」 平成21年7月24日25日28日29日31日 8月1日4日5日 常盤平市民センター		

平成21年度事業の成果

①「講演会—地域で支える外国人の子ども—」には59名の参加があった。外国人の子ども支援といえば、ミクロ的に日本語支援と認識されがちである。今回は異文化間教育という視点から、地域が如何に外国人の子どもを支えていけるかを考えた。他市からの参加も多く外国人の子ども支援への関心の高さが伺えた。

②「スタッフ養成講座—外国人の子どもに日本語を教えよう!—」は夏休みにほんご教室で即使える教材や方法を学んだ。56名の参加者の内14名は若い高校生であった。

講演会、講座に参加の34名が夏休みにほんご教室に参加してくれた。

③「夏休みにほんご教室—みんないっしょに勉強しよう!」は8日間で述べ170名の外国人の子どもと、述べ155名のスタッフが集まった。来日間がない子どもは日本語学習、会話ができる子ども達は数学(算数)漢字などの夏休みの宿題に取り組んだ。子どもたちからは「ひとりではなくみんなと一緒に楽しい!」「宿題が出来た!」「新しい友だちができた!」「高校生が教えてくれてよかった」などの感想が聞かれた。サブスタッフからは「教えるのは難しい!役に立ったのだろうか」「外国人の子ども達が日本語が上手で驚いた」「また来てねと言われて嬉しかった」などの声があった。

以上、本事業は増え続けている外国人の子どもの課題(日本語で会話は出来るが教科学習についていくのは難しい)への対応を目指すものであった。

支援に参加してもらう理解者(スタッフ)を集める講演会、講座はそれぞれ定員(50名)以上の参加があり、支援体制充実で夏休みにほんご教室を開催できた。8日間の教室は子どもたちが目的を持って参加し、満足して帰っていき成果は大きかった。

【協働事業者紹介】

「外国人の子どものための勉強会」は、1年を通して火曜教室、木曜教室、土曜教室、文化ホール教室を開催し日本語・教科・進路支援などを行っています。スタッフは日本語を教える事を勉強した者、教員(元・現役)海外生活経験者、外国語に堪能な者、子ども好きなサラリーマン(元・現役)、主婦などさまざまです。それぞれが自分の得手とすることを教えています。

外国人の子どもには日本語だけを教えればいいのかではなく、日本で生活する上での情報を与えながら継続して支援していく事が大事だと考えています。

《問合せ先》TEL&FAX 047-345-2051 外国人の子どものための勉強会・海老名

協働事業

キッズイノベーション	協働事業者	特定非営利活動法人 サイエンスシャワー
	事業担当課	生涯学習本部 企画管理室

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

① こども理科実験・理科工作の提供

子どもたちを対象に、五感を働かせ、体を動かし「実験・実習・観察・創意工夫」する理科教室（松戸市立柿ノ木台小学校・松戸市立六実中学校）を開設した。各会場校において、年間18回の実験をA（1-2年生）コース・B（3-4年生）コース・C（5-6年生）コースに分けて行いました。

② 多彩なおとなの活用

「社会貢献を推奨している団体・企業の協力を得て、豊富な知識、バリエーションに富んだ人材を確保し、活用します。」については、郊外学習の形で団体「独立行政法人 海洋研究開発機構」のご協力で、研究機構の見学・研究員の基調講演を開催しました。

事業費	1,240,800円
自己資金	864,000円
	（労力換算額：357,000円）
負担金	376,800円

平成21年度事業の成果

① こども理科実験・理科工作の提供

柿ノ木台小学校（47名）・六実中学校（46名）年間延べ1700名の児童が理科実験に参加しました。実験内容においては中学校・高等学校・大学で学ぶ内容を導入し、子どもたちの科学に対する興味・関心を高めました。その実験の一例としまして、物理分野：流体力学を利用した海面効果翼船「ラム」の製作。スターリングエンジン「ビー玉エンジン」の製作、直径25cmの巨大こまの製作、電子ブロックでラジオの製作、化学分野：ペーパクロマトの分析方法による「水生ペンの色分析」、ビタミンCの定性分析、銅鉱石から銅を取る化学的方法、水素・酸素を発生させてモーターを回転する燃料電池自動車の製作。プログラムを使ったロボット演習、その他の実験・工作を行いました。

② 多彩なおとなの活用

8月24日（月）独立行政法人 海洋研究開発機構において、有人潜水調査船「しんかい2000」コックピットの見学、研究所内の施設の見学、研究員によるこども向けのセミナーを行いました。

【協働事業者紹介】

特定非営利活動法人 サイエンスシャワー
担当 横田文男

scienceshower.com

〒270-2241 松戸市松戸新田 585

tel. 047-710-2721 fax. 047-365-8379

mail: info@scienceshower.com

協働事業

協働イベントの作り方講座 開催事業	協働事業者	NPO 法人松戸市民劇団
	事業担当課	協働推進課

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

- 4月30日～5月28日・・・前期・事業企画事前打ち合わせ
- 6月4日～8月6日・・・協働イベントの作り方講座実施(前期6日間)
- 8月25日～10月5日・・・後期・事業企画事前打ち合わせ
- 10月13日～12月8日・・・協働イベントの作り方講座実施(後期6日間)
- 22年1月6日・・・講座振り返り会議
- 3月25日～28日・・・決算、事業報告のまとめ作業

事業費	409,153円
自己資金	109,153円 (労力換算額:191,375円)
負担金	300,000円

≪講座6日間の内容(前期・後期共通)≫

- ①「アイスブレイク」市民と市職員の交流・共通理解
- ②「ケース・スタディ」協働事業の実践例に学ぶ
- ③「市内ツアー」活動のフィールドを知ろう
- ④協働事業の進め方ノウハウ(資金、集客、広報・宣伝)
- ⑤企画作りの実践、具体的な企画書の作成実習
- ⑥まとめ＝「思い」を「かたち」に「協働で」



平成21年度事業の成果

- ・市民や行政の担当者が、より良い地域活性化イベントを「企画し、成功させる」ための、実践的なノウハウを学ぶ場を提供することができた。
- ・企画の作り方、広報宣伝の方法、官公庁との協力体制の作り方、人材育成や資金調達のヒントなど具体的な経験に基づいた、また、松戸に根ざした、より実践的・具体的な内容を学び、さらに参加者が持ち寄るノウハウや人脈についての情報交換ができた。
- ・多様な市民と行政職員とが、一緒に「イベント作り」

を学ぶことによって、つながりを作ると共に、信頼関係が生まれ、新しいイベントが生まれる可能性につながった。



【協働事業者紹介】 「NPO 法人松戸市民劇団」

昭和54(1979)年4月に発足。松戸市内を中心に活動している。正劇団員20人(準劇団員を含む)。年齢層は、20代から70代まで、主として社会人で構成されている。

活動(稽古)は毎週土・日曜日と祝日、原則として19:00から。演劇公演は年1～2回。

事務所兼稽古場兼小劇場「アトリエ劇舎しばいや」は、八柱駅徒歩2分(松戸市日暮1-2-3-4F)。

公演以外の活動では、戸定邸内にて松戸市観光協会の事業に協力し、売店の運営等を行う他、市内のイベント(松戸まつり、桜まつりなど)に参加協力している。

代表＝石上瑠美子。《問合せ先》電話047-389-1977(石上)



協働事業

子育て支援ネットワークづくり事業	協働事業者	松戸子育てフェスティバル実行委員会
	事業担当課	子育て支援課

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

◆私たちの活動目的は、下記の2点です

1. 子育てをしている人たちに、情報を提供すること
2. 子育て支援団体同士のコミュニケーションを図ること

事業費	890,164円
自己資金	390,164円 (労力換算額: 114,000円)
負担金	500,000円

◆目的達成のため、下記事業を実施しました。

1. 子育てフェスティバルを22年2月28日、ふれあい22にて開催。参加者数は下記。
【一般計954人】0～2歳/289人、3～6歳/135人、小学生/37人、大人/493人
【スタッフ計294人】民間/253人、行政/78人
2. 子育て支援者養成講座を開催。
市内の子育て支援関係者を対象に、11/25、26、28の3日間開催。各33、53、16名、延べ102名参加。

平成21年度事業の成果

- ◆相談：子育て相談の部屋には、17組の来場がありました。真っ先にこの部屋をたずねてくる方がいたのも印象的でした。また、助産師会が担当した赤ちゃんとお母さんのお部屋でも、アロマハンドマッサージや体重測定等を実施しながら、たくさんの相談が寄せられました。様々な形態で、相談に応じる体制を整えた成果だと思います。
- ◆ネットワーク：今回は、全体の実行委員会にとどまらず、係り分担や部屋の担当ごとの打合せ回数を増やすように変更しました。そのため、実行委員の意識がさらに高まり協働の姿勢が深まったようです。
- ◆安全対策：フェスティバルの実施にあたっては、新型インフルエンザの影響により、不特定多数の特に乳幼児を対象としているだけに、非常に悩ましい思いをしました。結果的には実施できたのですが、その間、非常時の避難誘導や安全対策について実行委員会で議論する契機になりました。

【協働事業者紹介】

子育てフェスティバル実行委員会

- 〈民間〉 松戸市保育園協議会 松戸市私立幼稚園連合会 (社福) 松戸市社会福祉協議会
松戸子育て支援センター連絡会 おやこDE広場ネットワーク NPO 法人ねばぁらんど
聖徳大学にこにこキッズ (社) 日本助産師会千葉県支部松戸地区
- 〈松戸市〉 子育て支援課 常盤平児童福祉館 健康福祉会館 保育課 保健福祉課 女性センター
国際交流担当室 (財) 松戸市国際交流協会 青少年課 公民館 図書館

《問合せ先》 子育てフェスティバル事務局：NPO 法人ねばぁらんど

TEL：394-2800 / Email: never-land@never-land.info

協働事業

子どもへの読書普及活動支援事業	協働事業者	松戸子どもの文化連絡会
	事業担当課	図書館

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み	事業費	230,147円
I 子どもへの読書普及活動団体への聞き取り調査（6～7月） 昨年度のアンケート調査を元に、特に地域で活動している団体への聞き取り調査をし、18団体の活動状況を一覧表にまとめることができた。	自己資金	69,747円
	（労力換算額：243,250円）	
	負担金	160,400円
II 「やってみよう！おはなし会 実践連続講座」（全5回）の開催（6/5午前、6/12・6/19午前午後） 読み聞かせやおはなし会を行う団体・個人、これからやりたい人たちへの実践的な研修の場として対象別（赤ちゃん、幼児、小学生等）の講座を開催し、延べ133名の参加があった。資料として「おすすめ絵本リスト」を作成・頒布（1冊200円）し、自己資金を得ることができた。		
III 「子ども読書フェスタ」の開催 11月14日（土）		
1. ミニおはなし会（11月7～12日6日間）参加者数 おとな29人・子ども32人 計61人		
2. 優良図書の展示		
3. ミニ講座（年齢別のおすすめ絵本の紹介等）2回開催 参加者30人		
4. 講演会「子どもと本を結びつけるために一絵本を考える」西巻茅子氏（絵本作家）		
5. 子どもへの読書普及活動団体の交流コーナー		
2～5の事業への参加者 おとな126人 子ども12人 計138人		

平成21年度事業の成果

Iの「聞き取り調査」の結果、松戸市内で子どもへの読書普及活動をずっと続けている団体がいくつもある一方、新しい団体が活動を始めていることがわかった。また、新たに読み聞かせやおはなし会をしたいと考えている人たちへの支援としても、IIの「実践連続講座」は大きな支援になったのではないかなと思う。講座の資料が大いに参考になったという声も後日寄せられ、以前の調査の中で出されていた読み聞かせの際の選書の難しさに応えることができた。

IIIの「子ども読書フェスタ」の取り組みは、140名近い参加があり、講演会等を通して、「子どもの読書の大切さ」や「子どもへ本を手渡す大人の役割」などについて改めて考えさせられ、今後の活動に活かしてってもらえるのではないかなと思う。今年度の事業は、昨年よりも更に内容も多彩に行うことができ、今後の松戸市の地域ぐるみでの「子どもへの読書普及活動」の推進への第一歩となった。

【協働事業者紹介】

発足&活動目的 2003年11月に“子どもの健やかな成長”と“子育て中の親の支援”を目的として発足。子どもに係わる団体・個人と手をつなぎ、情報交換、交流を深めて、子どもの文化、子育ての輪を広げていくために活動しています。

主な活動 毎月I回の定例会、「あそぼう！ふれあおう！あそびのひろば！第1部あそびのひろば・第2部人形劇とおはなしのひろば」、「民話のつどい」の開催、人形劇資材の貸出し、などの事業を行っています。『子育て・孫育てガイドブックプロジェクト』の「ガイドブック」作成も支援し第2号発行。会員数20名 会員募集中！！ 子育て中の若い世代の皆さんぜひ一緒に活動しましょう。

《問合せ先》 崎野佳子（会長） TEL/FAX 047-386-2838

滝川幸子（事務局長） TEL/FAX 047-347-7448 メール s-taki@ka8.koalernet.ne.jp

協働事業

シニア交流センターにおける 生涯学習実施事業	協働事業者	松戸市認定社会教育関係団体 やよい会
	事業担当課	高齢者福祉課

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

加速する高齢社会で、高齢者の医療・介護費の増大は大きな社会問題です。元気高齢者を1人でも多くすることが喫緊の課題です。その一助として生涯学習が重要です。やよい会は、この8年「高齢者の健康と福祉」をメインテーマに毎年生涯学習講座を実施してきました。

平成21年は、このノウハウを活かし、元気高齢者のための施設「松戸市シニア交流センター」で生涯学習講座を実施しました。

事業費	119,900円
自己資金	40,900円
(労力換算額: 111,500円)	
負担金	79,000円

講座内容

	年 月 日	講 座 名	講 師
1	H22. 10. 23	感染症の予防と対策	千葉西総合病院 総長 前田 清貴 氏
2	H22. 10. 30	特養「あすなろ」見学	「あすなろ」施設長 小暮 信将 氏
3	H22. 11. 06	薬の賢い付き合い方Ⅳ	千葉県薬事アドバイザー 石井 富佐恵 氏
4	H22. 11. 13	高齢者を狙う悪質商法	松戸市消費生活相談センター 池田 操 氏
5	H22. 11. 20	口腔衛生について	日本歯科衛生士会 専務理事 松木 一美 氏

平成21年度事業の成果

1. 生涯学習ニーズに応える

アンケートで講座内容について「参考になった」が約90%であったので、充分ニーズに応えていると言えます。

2. シニア交流センターの認知度向上

シニア交流センターは平成18年4月に、5つの機能を備えた元気高齢者のための施設として開設されました。しかし立地の不便さからその認知度はそれ程高くなく、その向上が望まれています。やよい会のここでの講座開催目的は、その知名度向上・活用度向上にあります。

シニア交流センターでの講座開催は、平成20年度は延受講者数125名、今回21年度協働事業としての延受講者数は169名約35%増で効果ありと言えます。

アンケートで「センターを知らなかった」人が約3割なので24名が今回センターを知ったこととなります。

【協働事業者紹介】

やよい会は、高齢者を対象とした生涯学習講座を企画・実施しているグループです。

平成12年度松戸市生涯学習大学の企画提案委員を母体としています。

平成13年より毎年自主企画講座を開講し、今回を含め9回の実施となりました。

設 立： 平成13年4月

代表者： 近藤 剛

問合せ先： 近藤 剛 Tel&Fax 047-345-1448

《問合せ先》 (連絡方法(電話番号など)、連絡者名をご記入ください。)

協働事業

市民後見人養成事業（Ⅱ）	協働事業者	NPO 法人成年後見センター しぐなるあいず
	事業担当課	介護支援課・障害福祉課

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み	事業費	605,352円
<ol style="list-style-type: none"> 市民全般への成年後見制度啓発と関心度拡大 <ul style="list-style-type: none"> 第3回市民後見人養成講演会開催 市民の後見支援活動参加意欲を向上 <ul style="list-style-type: none"> 第3回市民後見人養成初期研修会開催 後見支援活動に意欲のある市民へ必要な基礎知識の講習 <ul style="list-style-type: none"> 第1回フォローアップ研修会開催（3日間9教科） 外部支援団体主催の後見人候補者養成講座（2日間7教科）に参加 将来の後見支援活動を支える人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> 当NPO法人を受け皿に「市民後見協力員」として登録 	自己資金	105,352円 (労力換算額: 423,500円)
	負担金	500,000円
	平成21年度事業の成果	
<ol style="list-style-type: none"> 第3回の養成講演会には144名の参加があり、うち新規の参加者120名に上り、また、一般市民の参加が34%（前年12%）と市民全般への後見制度啓発は次第に浸透している。 前年度から継続の3度の初期研修を経由して、第1回フォローアップ研修会に31名の参加があり、さらにこの中から年度末の後見員候補者養成講座へ21名が進まれ、年度末現在16名が「市民後見協力員」として当法人の後見支援活動に賛同され、実務体験を行うための登録を完了した。 これらの市民後見人養成事業の効果で千葉家裁より5人の法人後見受任が実現し、近隣地域の後見支援を志す人や団体へ波紋を広げることができた。 		

【協働事業者紹介】

市内知的障害者の親族を中心メンバーに平成16年4月より ①成年後見相談、申立て支援 ②支援人材の養成 ③法人による後見受任 ④後見制度利用活性化のための啓発、広報活動 等を行っている。

平成18年11月にNPO設立、会員は120名

連絡先：〒270-0092 松戸市松戸1292-1 シティハイツ松戸510号 TEL047-702-7868

後見相談室：松戸市総合福祉会館 第1~4 金曜日10:00~15:00 TEL090-9347-8346

協働事業

小中学生向け金銭教育事業	協働事業者	NPO法人 おかねの楽校
	事業担当課	生涯学習本部 企画管理室

【事業内容】

<p>平成21年度事業の取り組み</p> <p>小学校高学年向け金銭教育講座『おかねの楽校』（全18回） の実施 参加者20名</p> <p>金銭教育ゲーム“おこづかいゲーム”の実施 3回実施（7月、12月、3月）延べ53名参加</p> <p>保護者向けセミナー“おこづかいのあげ方”の実施 3回実施（7月、12月、3月）延べ17名参加</p> <p>市内 小学校・中学校・高等学校にたいして金銭教育に関するアンケートの実施 事業担当課の協力の下、市内各校に実施、すべての学校</p> <p>スタッフの育成 新規スタッフの募集・育成</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>1,309,382円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>809,382円 (労力換算額:112,500円)</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>500,000円</td> </tr> </table>	事業費	1,309,382円	自己資金	809,382円 (労力換算額:112,500円)	負担金	500,000円
事業費	1,309,382円						
自己資金	809,382円 (労力換算額:112,500円)						
負担金	500,000円						
<p>平成21年度事業の成果</p> <p>『おかねの楽校』、おこづかいゲーム、保護者向けセミナーでは、アンケート結果からも十分な成果があったと認識しています。</p> <p>スタッフの増強については、出張授業の実施が不透明だったこともあり、4月に実施したにとどまりましたが、新たに3名がスタッフとなりました。</p> <p>出前授業の展望は開けませんでした。学校向けアンケートによって、学校に実態として、希望はあるが時間が取れないということが分かったことは成果の一つともとれると考えます。放課後教室への提案など、正規の授業以外のところで提案する必要があると考えます。</p>							

【協働事業者紹介】

子どもたちが将来、豊かで幸せな人生を歩むために必要な「健全な生きる力」のひとつである、「お金の正しい知識」と「お金の健全な使い方をするための価値判断力」を培ってもらうために活動しています。活動の中心は、1年を通じて子どもたちと一緒に学ぶ『おかねの楽校』で2005年より実施しています。
詳しくはHPをご覧ください。(<http://www.okanenogakkou.com>)

《問合せ先》HPからお問い合わせメール、電話047-308-4070

協働事業

「地球にやさしい行動宣言」 推進事業PART2	協働事業者	アースコン・マツド
	事業担当課	環境計画課 減CO2担当室

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

この事業は市民が「知る」ことから、「行動する」段階にステップアップするためのツールである「行動宣言」制度の啓発及び普及活動を通して、省エネ行動や地球温暖化防止対策に自主的に取り組む市民を増やし、家庭部門のエネルギー消費削減・CO2排出量削減につなげ、脱温暖化社会への道を開くことを目的としている。

本年度においては、初年度実施した学習会での「行動宣言」の普及活動の内容を一部見直し、引き続き推進するとともに、新たなイベントの開催、「行動宣言」の多様化策の実施等により、行動宣言者の急増を図り、3年間で行動宣言者1万人以上の達成を目指すベースを確立する。

新たに導入した事業は以下の通りである。

1. 「まつど減CO2の日」の1日イベントを開催。
2. 「行動宣言」に協賛する町会・市民団体・学校・企業を対象とする「団体宣言」の宣言書の様式、内容、フォロー方法等の検討。
3. 成人環境講座「省エネルギースキルアップ講座」の開催。「行動宣言者」を中心に参集し、交流と研鑽をはかる。
4. 「行動宣言者」を活かす仕組みづくりの検討。

尚宣言書の回収目標は、A宣言書1,000枚 B宣言書2,000枚 合計3,000枚とする。

事業費	533,929円
自己資金	153,929円
(労力換算額:510,000円)	
負担金	380,000円

平成21年度事業の成果

「行動宣言」の急増をはかるべく、イベント会場での配布回収に注力し、又まつど減CO2の日を中心に小学校一斉行動宣言を実施するなど協働事業は良好な関係で展開できた。主な成果を以下に列挙する。

1. イベント実施回数 実施回数25回（年初計画18回）で、年初計画を上回り実施できた。
延べ参加者数 847名
2. A・B宣言合計 8,998枚で目標枚数3,000枚を大幅に上回った。
3. 成人環境講座「省エネルギースキルアップ講座」の開催 行動宣言者の「よりレベルの高い省エネ行動」にチャレンジするきっかけづくりのために開催し、熱心な意見交換がなされた。今後もこれらの人々が普及活動に参加する条件整備を進める。
4. 「減CO2ポイント制度」の導入 「行動宣言」のインセンティブづくりのため、テスト導入した。今後はその効果について検証し、魅力ある制度の構築を進める。

【協働事業者紹介】

アースコン・マツドは平成14年4月、県知事より委嘱を受けた県地球温暖化防止活動推進員の有志によって設立され、現在24名(平成22年3月末、男12・女12)の会員で運営されている。平成20年度からは、特に市との協働事業を推進し、地球温暖化問題やその防止活動を「知る」ための講座や学習会を数多く開催している。そして受講者に進んで「行動宣言者」になることを要請し、「できる」ことを実感して、自ら温暖化防止に取り組む市民を増やすべく、活動を押し進めている。平成21年度はその2年目に当たる。

《問合せ先》 代 表 :土田 茂通

事務局長 :長谷川三喜雄 松戸市新松戸3-2-3 TEL 047-346-3964

協働事業

松戸子育て情報サイト「まつどあ」 ホームページの管理運営事業	協働事業者	特定非営利活動法人 松戸子育てさぽーとハーモニー
	事業担当課	子育て支援課

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

<事業の実施内容>

子ども・子育て情報の一元化

☆20年に作成した子育て情報サイト「まつどあ」を、より充実したサイトにするために、21年11月にリニューアルオープン!

- ・子育てコラム、子育てレシピを導入。
- ・対象を小学生まで拡大(小学生の放課後についての座談会、小学生向けの記事)
- ・周知のための広報用カード、営業用チラシを作成・配布。

☆民間団体・企業との協力、連携。(バナー広告営業など)
子育て支援ネットワークの拡大、強化。

母親の社会参画の支援

- ☆小学生を持つ母親を対象に編集スタッフ養成講座を開催。
- ☆全メンバーと共に、母親たちが積極的に編集業務に取り組む。

事業費	425,208円
自己資金	69,843円
	(労力換算額:902,400円)
負担金	355,365円



平成21年度事業の成果

子ども・子育て情報の一元化

☆リニューアルオープン!でより見やすく楽しめるサイトになり、更新頻度を高めた結果、アクセス数が急伸。

おやこDE広場などでは、まつどあを見ての来館も増えた。

☆「まつどあ」を媒体とした市民のつながりもでき、取材、営業、各種イベント等での積極的広報を通して、これまで縁がなかった団体や子育て支援以外の市民活動団体等ともつながることができた。

松戸子育て情報サイト



まつどあ

<http://matsudoor.com/>

まつどあ

検索

母親の社会参画の支援

☆小学生を持つ母親をメンバーに加えたことで、小学生の内容も充実。

母親たちには、子育て以外に自分自身の生きがいや活動の場の提供ができた。



小学生記事のための座談会♪



【協働事業者紹介】

<主な活動拠点と事業>

野菊野こども館(野菊野団地内)

.....火~日曜日開館

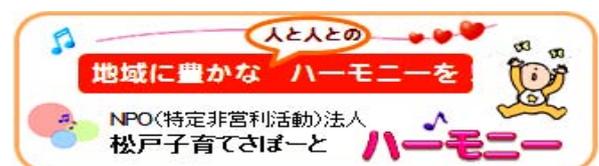
おやこDE広場小金原(タウンスクール根木内3階)

.....水・木・金曜日開館

E-こどもの森・ほっとるーむ新松戸

(新松戸未来館1階).....火~日曜日開館

「子育てしやすいまち☆松戸」を目指して、子どもたちや子どもに関わる人たちと手をつなぎあい、自分らしくイキイキと過ごせる環境づくりに取り組んでいます。



《問合せ先》 E-mail: harmony.jp2006@yahoo.co.jp 090-9141-0128 (石田)

協働事業

皆でつくる根木内歴史公園Ⅱ	協働事業者	根木内歴史公園サポーター (根っ子の会)
	事業担当課	公園緑地課

【事業内容】

<p>平成21年度事業の取り組み</p> <p>「歴史とみどりと水の調和」をテーマとした公園を「身近な自然とふれあえる場」として、広く来園者に愛され、活用される公園とすることを目的として、自然豊かな公園づくりを目指している。</p> <p>根っ子の会は公園緑地課との良好な関係で協働事業を推進していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定例活動: 毎週金曜日、第2(金)ミーティング 2) 調査観察会: 花ごよみ観察会、湿地定点の調査観察 3) ボランティア講座の開催: 5～6月に計画(全5回) 4) イベント開催: ①家族と子どもたちを対象としたもの(虫の観察会、夏休み工作づくり)、②一般の大人を対象としたもの(ヨシ刈り体験)、③会員と里やまボランティアを対象としたもの(鳥の観察会、剪定実習)等、④その他(森の音楽会、写真展開催)、⑤その他の活動 5) 広報活動: ①HPは定例活動および調査観察の記録、イベントのお知らせと写真報告等を掲載 ②掲示板(3基)には、イベント開催・花情報・自然の見どころ・歴史や地形に関する情報を掲載 ③イベントのチラシ配布、近隣町会の掲示板にポスター掲示 	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>459,307円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>59,307円</td> </tr> <tr> <td>(労力換算額: 500,000円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>400,000円</td> </tr> </table>	事業費	459,307円	自己資金	59,307円	(労力換算額: 500,000円)		負担金	400,000円
	事業費	459,307円							
	自己資金	59,307円							
(労力換算額: 500,000円)									
負担金	400,000円								
<p>平成21年度事業の成果</p> <p>公園づくりは開園した時がスタートであり、「公園をどのように保全し、育て、利用していくか」という課題をもち、行政を交えて会員間で合意形成を図ってきた。作業活動と観察調査等を継続実施し、四季を通じての景観保持や園内の危険低減ができ、来園数が増えている。</p> <p>今年度は、「夏休みの工作づくり」「虫はかせになろう」のイベント参加者が各々100名を越える盛況であった。「公園で楽しむ音楽会」は2回とも雨天中止であったが、「緑と花のフェスティバル」「公園で観る写真展」「ヨシ刈り」「鳥の観察会」「剪定勉強会」などのイベントを開催。「ボランティア体験講座」は計画通り開講し、活動仲間づくりが出来ている。3ヶ所の掲示板を活用し、近隣町会の掲示板利用も行ってきた。根っ子の会HPに活動情報を掲載し、アクセス数:9400。</p> <p>各種のイベント開催によって、子どもからお年寄りまでが「豊かな自然」や「古来の歴史」を楽しめる場となることで、幅広い年齢層に利用してもらえるように協働事業の活動は推進している。</p> <p>負担金によって、備品および作業用品を購入でき、作業が円滑に進めることが出来ており、イベント関係でも備品購入や謝金の活用により良好な運営が出来たことは成果といえる。</p>									
<p>【協働事業者紹介】</p> <p>2006年7月に「根木内歴史公園ボランティア体験講座」の受講生で<根っ子の会>を組織し、公園ボランティア活動を開始。会員数:30名で協働活動を継続することにより、今後も来園の皆さんに楽しんでもらえる公園づくりに努めます。</p> <p>代表: 森 恭二 松戸市根木内192-5 TEL342-4798 URL: http://negiuchi.web.infoseek.co.jp/</p>									

市民活動助成事業

「映画で寺子屋」事業	団体名	小金おやこでえいが会
-------------------	------------	-------------------

平成21年度事業の取り組み 【事業内容】 地域に児童館のような子どもや親、大人と一緒に遊んだり、過ごして交流できる場所がほしいと平成17年に発足した「小金あそびばの会」が開催していた星空映画会と料理会&クリスマス映画会、その演目選びの試写会に、小学校高学年や中学生向けのドキュメンタリー映画会を加えて、「映画で寺子屋」事業として行った。ほぼ計画通り開催できたが、ドキュメンタリー映画会は「小金あそびばの会」の1月開催の「お仕事体験ひろば」にスタッフのエネルギーをとられ、高学年や中学生向けの活動には至らなかった。 *参加者（ ）内はスタッフ及びボランティア人数	事業費	87,126円
	自己資金	12,367円
	助成金	74,759円

日付	参加人数*	事業内容
7月4日	26名(5名)	小金あそびばの会フリースペースにて8月の星空映画会の演目選びを兼ねた試写会とカブラ遊び
8月1日	延85名(7名)	きよしが丘公園にてランタン作りと星空映画会
9月12日	13名(6名)	小金あそびばの会フリースペースにて12月のクリスマス映画会の演目選びを兼ねた試写会とカブラ遊び
11月28日	7名(6名)	小金あそびばの会フリースペースにて2月のドキュメンタリー映画会の演目選びを兼ねた試写会とカブラ遊び
12月5日	延67名(12名)	クリスマス料理&映画会、2月の演目選びのための試写会(スタッフのみ)
2月6日	21名(5名)	ドキュメンタリー映画&トークの会、環境カルタ、コマ回し、剣玉、小金お仕事体験ひろばの映像と写真も併せて観る。

【平成21年度事業の成果】

- *協働推進課の市民活動助成を受けることで、他団体の活動を知ったこと、協働推進課に協力とアドバイスを頂けたことで(特に会場確保と費用の面)大いに助かった。
- *星空映画会、クリスマス映画会ともに市の広報に案内を掲載したので、広域からの参加があった。
- *地域の市民センターを利用することによって、参加者が広がった事だけでなく、市民活動にとって地域の市民センターなどの公共施設がどうあってほしいかということを考える機会となった。
- *フィルムをお借りした松戸市教育委員会社会教育課フィルムライブラリーについても自分達だけでなく、他団体や市民全般がもっと活用し易い方法はないか、フィルム購入に市民の要望が反映できないか等感じる事も多々あった。
- *実際の活動はスタッフが少なく、大変な面があり、「映画を一緒に観る」という行事を町内会や福祉協議会や行政が取り組んでくれるといいと思った。例えば、環境課が親子向けに環境をテーマにした映画会をすとか、福祉協議会や町内会が子ども向けの映画を夏休みにすとか、図書館主催のミニ映画会を開催するなど。
- *昨今、ビデオはちまたに溢れて、子ども達はビデオ付けになっていると言われていたが、親子でゆったり野外やホール、学校の体育館で一緒におすすめの映画を観るといふ素朴な楽しさは地域や異世代の交流にもなり、映画会活動はもっと見直されてよいのではないかと考えている。

【事業者紹介】

平成17年4月地域に児童館のような子ども達(親や地域の大人にとっても)の遊び場や居場所がほしいと有志で発足。18年より夏は公園で星空映画会、冬はホール(小金小学校旧幼稚園、小金市民センター)でクリスマス料理会&映画会を行う活動を千葉コープの地域ネット活動として開始。21年度は協働推進課の市民活動事業(「映画で寺子屋」として活動として行った。今年度は①5月29日(土)小金市民センターにてドキュメンタリー映画「1/4の奇跡~本当のこどだから」(まつど「1/4の奇跡」上映会実行委員会主催)②9月25日(土)料理会&映画会を開催する。

《問合せ先》 (電話&FAX 047-343-6814 杉田久美子

市民活動助成事業

子育てパパのともだち作ろう事業	団体名	特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
-----------------	-----	-------------------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

ドギマギパパの子育てフォーラム（連続3回講座）

事業費	113,551円
自己資金	13,551円
助成金	100,000円

目的 育児に関する具体的な子どもとの関わり方を学び、実際の生活に役立ててもらおう。また参加者どうしのつながりを作るきっかけを作る。

開催日時 平成21年9月12日・19日・26日 土曜日
10:30～11:30（講座後約30分茶話会終了12:00）

対象 乳幼児の親子・子育てに関心のある男性

講座内容 1回目乳幼児の食事について・・・栄養士有川玲子氏
2回目パパのリフレッシュ体操・・・自彊術体操指導者小島恵子氏
3回目先輩パパと話そう・・・松戸コミュニティサイト運営管理者榊原直哉氏

保育付き講座として同室で保育をするので、子どもを預けたことのない保護者も目の届く所にお子さんがいるので安心して講座を受講してもらおう環境作りができた。

毎回講座終了後にお茶を飲みながらフリートークの時間を設けた。

育児に関する話題、子ども自慢、などおしゃべりした。

最後に終了証を参加者にお渡しし、また講座内容の簡単なまとめもお渡しできた。

平成21年度事業の成果

育児に関心のある、子育て初心者の人たちに参加してもらえた。

講座は育児中に役立つ内容にしてあったので参加者は楽しく受講できた。

講座終了後も何度も本法人が運営している広場に遊びにきてくれた親子がいた。その中でちょっとした疑問を相談してくれる父親もいてさらに育児に積極的にかかわれるようになっていと感じた。

松戸コミュニティサイトへ登録して、父親同士の交流の巾が広がっているようだ。



今まで行っていた父親向け講座の講師にボランティアできていただいたが、今回は講師料を支払い、また、講師の数も増やすことができ、講座の内容が深まり、広がった。

【事業者紹介】NPO法人子育て支援ぽこら（松戸市男女共同参画推進グループ）

- ・ おやこDE広場ゆうまつど・おやこDE広場南花島（松戸市委託事業）
- ・ 1才児から就園前の子どもと保護者の遊びと仲間作りの場所作り
- ・ 乳幼児のための食育講座・パパ講座・21年度赤い羽根協同募金助成金によるママのリフレッシュ講座、などの開催
- ・ 市内の子育て関係イベントへの参加
- ・ ボランティアへの活動の場の提供

乳幼児とその保護者や支援する者が集いお互いに助け合い成長できるように活動しています。

《問合せ先》HP <http://www.geocities.jp/pocora616/>

e-mail pocora060620@yahoo.co.jp

子育てママ応援！ ワタシ発見わーくしょっぷ 事業	団体名	NPO 法人 ねばあらんど
-------------------------------------	-----	----------------------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み ＊わーくしょっぷの月一回開催 現代の家庭環境は核家族化しています。その中でお母さんは母子カプセルに閉じ込められ、ひとりになる時間がなかなかありません。 それは子育てをする上では当然のことでしたが、現代社会においては核家族化から来るお母さんの閉塞感やイライラが子育てに悪影響を与えているといわれています。 お母さんたちが少しでもひとりになる時間を持ってほしい。ひとりの女性として輝いてほしい。ママが輝けば、パパも子どもも、社会も元気になる！そんな思いから、わくわくたまごでは毎月最終月曜日に、「子育てママ応援！ワタシ発見わーくしょっぷ」を開催してきました。 また、この事業を通して個性豊かな講師を発掘し、やがては利用者の中からも講師が誕生していけるように、松戸市の子育て世代のピアサポートの発展にも力を注いでいきたいと思えます。 ＊事業の内容 ネガティブパターンを開放するワーク、親子で楽しめるおえかきセラピー、オーラソーマカラーセラピー体験、フラワーエッセンス、ヴォイスヒーリングなど。	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>137,527円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>37,527円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>	事業費	137,527円	自己資金	37,527円	助成金	100,000円
事業費	137,527円						
自己資金	37,527円						
助成金	100,000円						
平成21年度事業の成果 ＊「1人の女性としての自分を見つめ直す時間を持ってもらう」という目的については、ほぼ達成できました。わーくしょっぷを終えた後、皆生き生きとした表情になり、リフレッシュしていました。声を出すワークでは、とても小さな声だったお母さんが、終了後にはとても大きな声を出している姿もありました。普段も明るい顔になっていたのが印象的です。 ＊「中期的な展望として、将来的には子育て世代のピアサポートの発展にも力を注ぐ」という目的については、一朝一夕に成果が出るものではないことを実感しました。今後も継続して参加するように、わくわくたまご利用者に声をかけたり、わーくしょっぷ参加者を増やすために、告知方法を工夫していきたいです。そしてママスタッフという制度を創るなどピアサポートの土台作りをしていきたいと考えています。							

【事業者紹介】

＊子育て親育ちひろば わくわくたまご 乳幼児と保護者の集い事業を開設
 元新松戸北小学校「子育て☆ひろば」内 毎週月曜日10時～15時（祝休）
 ＊おやこ DE 広場馬橋 ☆ボランティアさん大募集中！！
 中根公民館において 月、水、金9：30～16：30（祝休・年末年始休）
 <問い合わせ先>ねばあらんど事務所 047-394-2800
 わくわくたまご・おやこ DE 広場馬橋共通電話 090-9831-1140
 メールアドレス wakutama@never-land.info
 わくたま日記 <http://ameblo.jp/wakuwakutamago/>

三世代交流「まちなか劇場」	団体名	NPO 法人子どもっとまつど
---------------	-----	----------------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

- ① 自分の住んでいる身近な場所で、
- ② 多世代が交流しながら（子どもから、おじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い世代で）
- ③ ワクワドキドキするプロの技に感動し体験する場をつくることを目的に市内で2か所開催した。

事業費	149,500円
自己資金	49,500円
助成金	100,000円

●第1回公演「だだすこだんだん」

日時・会場 2009年9月12日（土）新松戸市民センター

参加者 68人

●第2回公演「だだすこだんだん」

日時・会場 2010年1月23日（土）健康福祉会館（ふれあい22）

参加者 65人

◆内容 1, 2回とも同様のもの

ただじゅん氏（表現とあそびの風光舎）

1部 三味線の弾語り。太鼓。むかしばなし。獅子舞など

2部 鉢巻き（不織布）に絵を描いて、オリジナルの鉢巻きをしめて「ソーラン節」をみんなで踊る

3部 ただじゅんさんを囲んで参加者と交流

- ・2009年5月～2010年1月 開催地域の団体及び関係者に趣旨の説明と広報活動をおこなう
- ・2010年2月に2ヶ所の開催地域の関係者を交えてふりかえりの会を開催した。

平成21年度事業の成果

- ・実施会場の地域の自治会、防犯委員、町会、介護支援センター、学校、幼稚園、子育て支援施設、子ども関係の団体に趣旨の説明に出向き理解を得られた。
- ・自主的に事業に協力してくれる良き理解者が得られ、今後の事業への協力を約束してくれた。
- ・当日は目標に近い参加者があった。
- ・幼児から高齢者、障害者など地域の多様な人々の参加があり交流できた。
- ・ワークショップでは三世代が交流することで相互の学びの場面が沢山見られた。
- ・アンケートから今回の企画が良く理解されていることが読み取れた。
- ・当日の交流会から企画の継続を求める声が沢山聞かれた。
- ・ふりかえりの会から次年度に実施にむけてのアイデアがたくさん出された

【事業者紹介】

子どもは、感動する体験や、豊かな自然体験や、地域社会の中での、さまざまな人とのふれあいのなかでこそ、心豊かに育つものと考えます。豊かな子ども時代を子どもと大人が一緒になってつくっていきます。

●子育てをたのしもう！・・・おやこの広場る一ふる・子育て広場・こどもっと

●鑑賞+ワークショップ・・・てんじん劇場・人形劇の公演・落語の口演など多数

●自然体験・ものづくり体験・・・陶芸教室・自然創作アート教室など

●多世代交流・みんなで子育て・・・三世代交流「まちなか劇場」

〒270-2261 松戸市常盤平 2 - 9 - 5 長谷川ビル 301 （月・水・金 10:00～16:00）

TEL/FAX : 047-386-9154 npo-mk@cd.wakwak.com <http://kodomotto-matsudo.com>（渡辺）

<p>人材バンク「まつどの先生」プログラム事業</p>	<p>団体名</p>	<p>まつど版サポート資源提供システム創る会</p>
-----------------------------	------------	----------------------------

【事業内容】

<p>平成21年度事業の取り組み (1) めだかの学校 ・平成21年4月18日(土)と5月16日(土)に市民講座を市民会館の実施、(参加者合計:59名) (2) 演奏でつづる市民のアカデミー ・平成21年7月25日(土)“子育てミニ講座”、”スーパー紙とんぼ“づくりと親子コンサート ・平成21年9月19日(土)歌と子どものお話し、パフォーマンス ・平成21年10月17日(土)子どもの成長に伴う子育て&沖縄三線ライブ ・平成21年11月21日(土)“子育て特別講演”&“ピアノ演奏とお話し” ・平成22年3月31日(水)春休み市民のための「音楽フェスタ2010」 (参加者合計:237名) (3) TRYまつどの活性化 ・平成21年8月29日(土)「Try:松戸の活性化」講座、他に3回開催。 (参加者合計:53名) (4) 聖徳大生涯学習フェスタ2009「まつどブース」イベント:聖徳大10号館</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>291,296円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>191,296円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>	事業費	291,296円	自己資金	191,296円	助成金	100,000円
事業費	291,296円						
自己資金	191,296円						
助成金	100,000円						
<p>平成21年6月13日(土)フェスタの開催:まつどの先生大集合「役立つ体験発表」(5階:松戸ブース)ピアノ演奏、和太鼓「まつど自慢の特別講座」商工観光課、まつど銘菓の展示即売(参加者:105名)</p>							

平成21年度事業の成果

人材バンク「まつどの先生」プログラム事業目的は、「①市内の市民活動団体、企業、スキルのある個人を活用することで、松戸に密着した社会的、体験的な教育、学習が展開される。②市民活動団体、企業、スキルのある個人が教育、学習の場に積極的に参加することで、協働のまちづくりへの市民活動がより浸透し、活性化させる。」でした。

初年度は、第6回NPO市民活動見本市でプレ市民教室として実施し、①は一つの原型づくりが出来ました。②については、平成21年度の実施目標として、独自の企画・運営の「演奏でつづる市民のアカデミー」を実施開催いたしました。更に、年度末の3月31日には、「春休み、市民の文化・音楽フェスタ2010」を松戸市民劇場で開催しました。これは、「まつどの先生」を通じて市民の方々に協働のまちづくり事業としてアピールでき、十分な成果が達成できました。

【事業者紹介】まつど版サポート資源提供システム創る会

「まつど版サポート資源提供システム」が目指すこと

誰もが生きがいを持って生き生きと暮らす街、松戸。松戸市に暮らす私たちは、そんな松戸を夢んでいます。今、街づくりや子育て支援などの公益活動を通して、多くの市民が夢の実現に向けて歩みを進めています。その一方には、社会貢献や地域交流を大きな目標に掲げる企業等の存在があり、行政もまた困難な状況の中で松戸市の活性化に真剣に取り組んでいます。この取り組みをより実現可能な方向へと導く基盤として、市民活動情報ライブラリーを整備し、行政・企業・NPOなどのネットワークで繋いで、様々な経営資源(物品・情報・資金・人材など)を提供し、それを利用・活用する仕組みが「まつど版サポート資源提供システム」構想であり、『創る会』は協働のまちづくり推進の中核づくりを目指しています。

《問合せ先》 (連絡方法(FAX&TEL)、047-341-6643 金子)

E-mail:tukurukaimatudo@aol.com

URL:http://mederu-net.com

市民活動助成事業

バリア・バリアフリー体験教室・ まち探検推進事業	団体名	バリアフリーまつど市民会議
-----------------------------	-----	---------------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

- | | |
|------|----------|
| 事業費 | 146,434円 |
| 自己資金 | 46,434円 |
| 助成金 | 100,000円 |
- H21年5月28日(木) 参加者; 47名
この事業のキックオフとして「バリアフリーのまちづくり」シンポジウムを開催した。先進事例の紹介や行政からの報告、市民、社協、小学校などそれぞれの立場からの意見交換を行った。
 - H21年7月4日(土) 参加者; 69名
「まち探検」は、『五感で感じるわがまちウォッチング』と銘打って地域住民、商店会、老人会などに呼びかけて実施。市の交通バリアフリー法に基づく歩道改善工事の一部完成を受け、工事前と工事後の状況を利用者がどのように評価しているかを検証した。
また、この道路の利用者に広くアンケートを実施した。
 - H22年3月5日(金) 参加者; 12名
「まち探検」での検証結果をマップ・報告書にまとめ担当部署に報告し、今後の改善工事の参考にするための意見交換を行った。
 - H21年10月3日(土)、4日(日)・10月18日(日) 参加者; 400名
「バリア・バリアフリー体験教室」は、松戸まつりや社協のふれあい祭、NPO・市民活動見本市などに出席した。
 - H22年2月28日(日) 参加者; 52名
この事業の成果と今後の課題を探るために「やさしさいっぱいのもちづくりの課題は何か？」と題したシンポジウムを開催し、講演と意見交換会で参加者の“気づき”“思い”を総括した。

平成21年度事業の成果

- 「体験教室」は、これまでの体験者が延1,400名を超え、目標としたバリアフリーの市民啓発の底辺拡大に一定の成果を得ることができた。
- 今回のウォッチング箇所は、数年前にチェックし「提言書」を担当部署に提出、協働で改善内容を検討していた場所で（特に誘導ブロックの敷設など具体的方法）改善工事後その Before & After を検証した。計画から実施までの市民、当事者参加の大切さがあらためて浮彫りにされた。また、改善工事は、道路利用者（市民）から一定の評価を受けていることがわかった。
- この事業では、学生、商店会、老人会等の協力も得られ、この活動の底辺拡大を図ることができた。今回の参加者が、今後この活動のリーダーになることを期待している。

【事業者紹介】

○ バリアフリーまつど市民会議

《問合せ先》 代 表 元山幹雄 ☎&fax 047-345-8215

事務局長 室谷 勉 ☎&fax 047-385-6437

市民活動助成事業

「まつど子育て・孫育てガイドブック」 作成事業	団体名	まつど子育て孫育てガイドブック 編集プロジェクト
----------------------------	-----	-----------------------------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

事業費	426,900円
自己資金	326,900円
助成金	100,000円

「まつど子育て孫育てガイドブック」は私たちの想像以上に大好評で、その後も問い合わせが相次ぎ、しばらくはその対応に追われる日々でした。完売後、スタッフの共通した思いは、「本当にこの本を届けたい人たちにはまだ届けられずにいる」ということでした。しかし増刷するにも資金不足で、本を欲しいという方々にお断りするのが苦痛でなりません。そこで、「まつど子育て孫育てガイドブック」が欲しい！という声に少しでも早く応えるため、前年度計画では「平成22年度に次号発行」の予定でしたが、1年前倒しして、平成21年度夏に発行の予定で計画をしました。

21年度に発行するために、20年度には市の助成金を得て、研修や講習を重ねました。また、第2号(2009年度版)は第1号の内容の変更や、1号をご覧になった方からのご意見を参考に、編集を重ね、万を持しての発行となりました。

内容を充実するために、孫育てアンケート、幼稚園へのアンケート、母親へのアンケートを実施し、集計。また駅のバリアフリーについての調査や、妊産婦へのアドバイスを得るため助産師協会への協力要請、松戸市で子どもの健やかな育成を目指しているボランティア団にも協力を得ました。

行政関係の子育て応援施設も、地区ごとに詳細に掲載することを心がけました。地域の子育て支援・子育て応援を行っている団体にも協力をもとめ、紹介をいたしました。

平成21年度事業の成果

上記の事柄から、民間ならではの子育て支援の情報誌を発行することができたと感じています。データ入稿により、より見やすく、ページ数は減ったものの内容に関しては、1号よりもより充実しました。

2009年9月1200部を発行した「第2号」は、購入された方からのご意見はおおむね好評で、非常に分かりやすいとのご意見をいただきました。

発行前からの希望者、松戸に転居された方、お孫さんのいらっしゃるご婦人からも「娘」に送りたいと連絡をいただきました。

各種ミニコミ誌の掲載、チラシの配布などにより徐々に売り上げを伸ばしております。また、現在、市内の2か所の書籍店の店頭に並べてもらっています。

ある書店から、地味だが、非常に良い本だとおほめの言葉も頂きました。(市の子育て情報誌も発行された現在、9月頃から、市内の小児科医院、産婦人科医院置いてもらい、これから出産する方、子育て、孫育て真っ最中の方に役立ててもらうことも考えています。)

【事業者紹介】

「松戸で子育てをしてよかった！」と思えるように、子育て真っ最中の人たちを応援する本音の情報誌、『まつど子育て・孫育てガイドブック』第2号を出版するために活動した。

会員数：11名 活動日：月1回定例会（不定期）

《問合せ先》 高橋雅子 電話 047-360-7206

女性のおゆみ編纂事業	団体名	まつど女性会議
------------	-----	---------

【事業内容】

平成21年度事業の取り組み

2007年から女性史編纂プロジェクトとして活動を開始した。
本年度はその集大成の年として活動した。

事業費	311,881円
自己資金	211,881円
助成金	100,000円

編纂に向けての作業（会員の手作りを心がけた）

- 1 戦後から平成16年までの国・県・市の動向と女性の活躍を纏めた手書きの7メートル超える模造紙の情報を元にパソコンにより年表を作成。
- 2 取材活動及びそのまとめ
先駆的な活躍をされた女性として、取材した方（取材5名・原稿依頼15名）その内容をパソコンに入力し電子データとした。
また、市関係者に執筆依頼をしそれを取りまとめた。
- 3 表紙デザイン・カット（会員による）、冊子のページ割など印刷所に原稿持込できる状況まで会員で作成。

発刊後の作業

- 1 国・県・市の関係機関など贈呈先に郵送。
- 2 市内記者クラブ・広報・地域情報誌などに発刊をPR
- 3 会員・市民その他一般の方に販売活動を行う

発刊後の関連した活動

- 8月29日 国立女性教育会館「男女共同参画のための研究と実践のフォーラム」に参加
ワークショップ「まちの女性史がやっとできました」
パネルコント「愛14歳未来に向かって」を公演。
全国に向けて情報の発信ができた。
- 11月14日 ゆうまつどフェスタにおいて「女性史発刊記念シンポジウム」主催
本誌に掲載された松戸市で女性第一号として活躍された方々により、多くの経験に基づいた未来の女性へのメッセージを語っていただき、討論した。

平成21年度事業の成果

成果品を元に、松戸の女性史をまとめる作業、その情報や活動、纏めるまでの経緯を全国に向けて情報発信できた。編纂作業・原稿を依頼した方などを招いてのシンポジウム開催などの活動を通し、男女共同参画について意見交換や情報収集など積極的な学習につながるとともに、女性会議会員の絆がさらに深まることができた。

女性の活躍は歴史として留めることなく、現在も未来に向けても私達が問題意識を持ち、考え、行動していくことが必要ということを改めて学んだ。今後松戸で育ち、活躍される女性たちへの飛躍のエンパワーメントになることを確信し松戸市の男女共同参画の街づくりに寄与できたものと思っています。

【事業者紹介】

まつど女性会議は女性と男性が共に自立し、家庭・職場・地域で共に平等にかかわることのできる社会をつくることをめざす市民のネットワークです。個人会員により組織運営しています。定期的に学習会、見学会、行政や多団体との交流を持つなどの活動をしています。随時会員を募集しています。（松戸市男女共同参画推進グループです。）

《問合せ先》

〒271-0091 松戸市本町14-10 松戸市女性センターゆうまつど気付
代表 藪田京子 TEL 346-2129
事務局 西田絲子 TEL 3₂₀45-0833

(平成22年度事業の取り組み)

協働事業

事業名50音順

事業名	団体名	頁
障害者団体等の農業体験事業	ケア&ファーム 障害福祉課	P.22
「楽しい健康体操」推進活動	特定非営利活動法人人材パワーアップセンター 保健福祉課	P.23
父親のための育児手帳作成事業	NPO法人子育て支援ほこら 女性センター	P.24
トキ塾(常盤平塾)	常盤平地域活性隊 常盤平支所	P.25
福祉作業所に通う利用者の収入アップのための講習会	特定非営利活動法人運転免許取得支援センター 障害福祉課	P.26
ユースボランティア育成を通じた、子ども会・子ども地域活動の担い手支援モデル事業	特定非営利活動法人こぼていー子ども参画イニシアティブ 青少年課	P.27

市民活動助成事業

事業名50音順

事業名	団体名	頁
あなたのまち カラーウォッチング事業	景観色彩を考える会・まつど	P.28
医療セミナー事業	TEAMりぼん	P.29
外出困難者と共に風の中へ事業	特定非営利活動法人さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人	P.30
芸術による認知症予防及び進行抑制の為の事業と、子どもの豊かな感性を育む為の事業	クリニカルアートをひろげる会	P.31
子育ての根っこを育てよう！親子広場「風の子ルーム」事業	NPO法人風の子サークル	P.32
小浜屋敷の森 保全育成事業	松戸里やま応援団「小浜の森の会」	P.33
Jキッズ 子どもまつり事業	特定非営利活動法人 子どもの環境を守る会Jワールド	P.34
生活に役立つ「暮らしとお金」のセミナーと相談会事業	松戸生活やくだちたい	P.35
たすけあい・よろず相談員制度の必要性調査事業	特定非営利活動法人たすけあいの会 ふれあいネットまつど	P.36
手作り甲冑普及事業	松戸手作り甲冑愛好会	P.37
手と手で話そう事業	NPO法人子どもとまつど	P.38
八ヶ崎の森再生整備事業	松戸里やま応援団一起の会	P.39
まちづくりコラボサロン事業	まつどサロンネットワーク	P.40
まつどのアートな場所マップの制作事業	松風の会	P.41
もったいないツアー事業	松戸市政モニターOB「花草会」	P.42

協働事業

障害者団体等の農業体験事業	協働事業者	ケア&ファーム
	事業担当課	障害福祉課

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

『農業で働いてみたい・農業を体験したい』という障害者が農業体験の出来る環境を整備し、さらに地域・農家との関係を構築する。

事業費	630,000円
自己資金	130,000円 (労力換算額: 401,000円)
負担金	500,000円

・障害者施設との就農体験プログラム

福祉施設利用者を対象に就農体験と研修を行い、協力農家での実習を行う。実際に地域内の農地にて作業を行い、活動を通して障害への理解を進める血縁地縁など「つながり」を大事にする農家との信頼関係を構築する。

・障害者と家族の農業体験プログラム

就学期の障害者とその家族を主な対象として農業体験を行う。ボランティアや協力農家の参加を基に地域での関係構築のきっかけを作る。

平成22年度事業の目標

- ・農家での研修や実習を通し、障害者本人・家族・支援者に農業の実際を体験、理解を深めてもらう。
- ・コミュニケーションや個別性のサポートをどのように進めるか、最適な作業時間や作業法、正確な仕事へのアプローチ方法などを検討し今後への課題を抽出する。
- ・土とふれあい農作業を体験する場を実際に農業地区内で提供する。体感してもらう事により、イメージ先行の部分から一步を踏み出すきっかけとしてもらう。また、自分が食物の生産にかかわることによって、野菜への理解を深め、食育の視点からもアプローチする。

【協働事業者紹介】

ケア&ファーム

- ・障害者の農業体験の支援
- ・保育園児の農業体験・食育活動
- ・遊休農地・耕作放棄地の再生活動
- ・自然体験 身近な自然の中で遊ぶ活動
- ・サポーター ボランティアの育成

《問合せ先》 ケア&ファーム

FAX 047-363-2718

E-mail karakara@mx3.ttcn.ne.jp

協働事業

「楽しい健康体操」推進活動事業	協働事業者	特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
	事業担当課	保健福祉課

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

「楽しい健康体操～いつでも・どこでも・だれでも」普及にチャレンジinまつど

1. 取り組もうとする課題（テーマ）と事業

高齢者が生き生き自立して過ごすために概ね65歳以上の方を対象に、自宅の身近な場所で楽しい健康体操(介護予防運動)ができる「場」を松戸市内に開設(22年度5か所)していきます。そのために介護予防運動の指導者とその「場」の運営に当たるマネジャーの育成も進めます。

2. 楽しい健康体操の対象: 概ね65歳以上の方

3. この事業はNPO法人人材パワーアップセンターと松戸市保健福祉課との協働事業として推進します。

4. 事業の内容

○高齢者運動指導員の育成事業

○この事業を推進するマネージャー養成（企画立案・楽しい運営など各会場の運営に係る任務）

○提供する「楽しい健康体操」の質の向上を目指します

○「楽しい健康体操」の「場」の普及推進事業

「いつでも・どこでも・だれでも」継続して体操ができる環境が整うことで、多くの方が健康を維持し、福祉予算の抑制にも貢献することができます。その「場」を創っていきます。同時にこの「場」は高齢者が楽しく安心して集まり、おしゃべりができる「居場所」であり「仲間作りの場」「生きがい発見の場」として、地域の活性化に貢献することを目指しています。



事業費	665,000円
自己資金	165,000円 (労力換算額: 403,000円)
負担金	500,000円

平成22年度事業の目標

「楽しい健康体操」の「場」を松戸市内に5か所開設運営する
受益者数は年間延べ約3,000名を目指す

【協働事業者紹介】

特定非営利活動法人人材パワーアップセンターの活動理念は

「地域の人たちの思いや夢の実現を支援し・実践し、生きがいの発見と地域の活性化を図る」ことです。

この基本理念に基づきNPO法人人材パワーアップセンター内の各隊・チームがそれぞれ「受益者視点に立ち受益者ニーズと深く合致する社会サービスを単純明快でシンプルなコンセプトで提供」する活動をしています。

モットーは「わくわくいきいき楽しくね！」です

自分も楽しく周りの人も楽しくなる社会サービスを提供していきます

詳しくはホームページ www.npo-jpuc.jp をご覧ください

《問合せ先》 NPO法人人材パワーアップセンター 松山三郎 047-369-5737

協働事業

父親のための育児手帳作成事業	協働事業者	特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
	事業担当課	女性センター

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み	事業費	212,300円	
<p>近年、松戸市民のニーズとして仕事と子育てを両立するための公的サービスの充実はとても高いものです。</p> <p>母親まかせにしたいと考えている父親は大変に多くなっていますが、現実には仕事が忙しくなかなか育児に十分な時間をさくことができないのが現状です。</p> <p>そこで、忙しい父親に限られた時間で効果的に育児に参加できる手助けとなるひとつのツール（父親のための育児手帳）をボランティアの人たちと一っしょに作り、配布、普及させます。</p> <p>手帳作成にあたり、一っしょに活動してくれるボランティアを養成します。</p> <p>私達団体のスタッフも養成講座をともに受講し、ボランティアの人たちと知識を共有し、活動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座を行います。（連続5回）現役パパ等に講師をお願いします。 <p>育児と仕事のバランスは現実にはどのようになっているか、などクイズを盛り込みながら楽しく学びます。</p> <p>手帳をどのような内容にしていくか学び、意見を、アイデアをだしあいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材・編集会議をおこないます。必要に応じてアンケートをとります。 ・手帳を完成させます。 ・希望する方に配布できるように、広報活動を行います。 	自己資金	35,000円	
		(労力換算額：156,000円)	
		負担金	177,300円
<p>平成22年度事業の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座を行い、市民の方と一っしょに手帳作りに取り組みます。 ・手帳を活用することにより、ワークライフ・バランス、男女共同参画を考えた育児を行うことができるような手助けができるようにします。 ・松戸市として初めてとなる父親のための育児手帳を多くの方に知ってもらえるようにします。そのための広報をはじめます。 ・男女共同参画の視点を持った情報の提供と助言をします。 ・松戸市・女性センターとともに、信頼のおける手帳を配布します。 			
<p>【協働事業者紹介】NPO法人子育て支援ぽこら（男女共同参画推進グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度市民活動助成金講座を開催（ドギマギパパの子育てフォーラム） ・おやこDE広場ゆうまつど・おやこDE広場南花島（松戸市委託事業） ・1才児から就園前の子どもと保護者の遊びと仲間作りの場所作り ・乳幼児のための食育講座・パパ講座・21年度赤い羽根協同募金助成金によるママのリフレッシュ講座、などの開催 ・市内の子育て関係イベントへの参加 ・ボランティアへの活動の場の提供 <p>乳幼児とその保護者や支援する者が集いお互いに助け合い成長できるように活動しています。</p> <p>《問合せ先》HP http://www.geocities.jp/pocora616/ e-mail pocora060620@yahoo.co.jp</p>			

協働事業

事業世代間交流の場・トキ塾	協働事業者	常盤平地域活性隊
	事業担当課	常盤平支所

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

コミュニケーション不足が叫ばれている現代社会では高齢者に限らず若者も生きがいを持って生活することが最重要課題です。これら「生きがい」をテーマに取り扱う、団体、組織、各種趣味講座や生涯学習講座など数多くありますが、今回、提案の「トキ塾」は、単なる特定の人たちや、同じ年齢層の集まりで構成され、一方向的に行う啓発講座とは一線を画したものと考えています。

世代間の交流も含め、できるだけ多くの住民が、いつでも好きな時に気楽に参加でき、講師と参加者および参加者同士が、学びながら双方向的にコミュニケーションをはかれる機会と場所を提供したいとの思いから、本事業を提案いたしました。

「トキ塾」の参加型学習を通じて、地元町内会、自治会、地域団体及び行政と、交流の場をさらに広げていき、住民同士が、必要な時に、いつでも、誰とでも、気軽に声を掛け合える、笑顔で挨拶ができる、そんなコミュニケーションのとれる風通しの良い地域づくりの一助になるようにいたします。

事業費	264,750円
自己資金	50,000円 (労力換算額:257,000円)
負担金	214,750円

平成22年度事業の目標

平成22年度の目標は「世代間交流の場・トキ塾」を地域の方々に知らしめることです。その為にはトキ塾を始めること。町会・自治会に説明し回覧等を利用して存在を告知することが第一歩です。数値的には、常盤平地域の人口約4万人のうち10%の人々に活動の内容が知られること、参加者が人口の1%、400人を目標に致します。目標達成のためには、地域の協力が必須であり1年をかけて取り組みます。

【協働事業者紹介】

常盤平地域活性隊は、50年前日本で初めて建設された大規模団地である常盤平団地のほぼ真ん中に位置する中央商店会の広場を利用して毎月第二土曜日に「緑と音楽とアート」の祭「トキサイ（常盤平祭）」を開催している団体です。5月で満3年となります。どこからもお金は、もらわずボランティアからの寄付と汗で続いています。今回はトキサイの関連事業として「世代間交流の場・トキ塾」を始めることになりました。

連絡先：常盤平活性隊事務所 〒270-2261 千葉県松戸市常盤平2-24-2 中央商店街B-2 パソコンなんでも相談内、三羽（ミワ）宛、電話 047-388-8262

協働事業

福祉作業所に通う利用者の収入アップのための講習会事業	協働事業者	特定非営利活動法人運転免許取得支援センター
	事業担当課	障害福祉課

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

障害があっても、地域で生き生きと暮らしていける地域社会づくりを目指します。就労困難な障害のある人が通う福祉作業所は、今後補助金のカットなどで事業体として自立を迫られる、いわば移行措置の

時期。急激な変化が利用者の特性からできない福祉作業所は、今から徐々に、今後の在り方を考える時期にきています。福祉作業所の事業体としてのパワーアップと、福祉作業所に通う利用者の収入アップを目的に、現場で必要とされるワークショップや調理などの実技講義を盛り込んだ講習会を実施します。講習会を行うことで、それぞれの福祉作業所がそれぞれの利用者や、福祉作業所を取り巻く環境から、現在の課題を抽出し、これからの飛躍のために何が必要かを考え、モチベーションの向上をはかり、目標を設定する一助とします。

また、地場の力を活用した地域コミュニティの中で、自治体、企業、教育機関、個人の方々とどのような連携や、システムづくりが可能かを模索していきます。

事業費	808,460円
自己資金	308,460円
(労力換算額: 320,000円)	
負担金	500,000円

平成22年度事業の目標

福祉作業所の利用者の障害の特性から、企業のように急激な事業変革をなかなか行うことができない、または「何かをしなくてはならないけれど、何から行っていいかわからない」福祉作業所に対して、

- ① 現場の職員（理解が可能な利用者含）、に講習会を開催することで、解決の糸口を提供する。
地場の企業の方にも福祉作業所の現状を知ってもらうために、一部参加の声かけを行う。
- ② また、多くの福祉作業所で作られている商品を一般流通に耐えうる商品づくりにしていくためには、何が必要かなど、事例を交えた情報や知識を提供する
- ③ そのことによって、福祉作業所それぞれが身体障害・精神障害・知的障害・高次脳機能障害などを持つ利用者の状況や規模に合わせて、事業体としての変革期に何をすべきか、これからどうしていくべきかの意識改革の一助となり、また実際に実行していくことで、上記記載の〈目的〉に近づける。
- ④ ①②の講習会を通じて、松戸市内の福祉作業所全体のボトムアップと、地場の企業や市民に福祉作業所を理解してもらい、地域ネットワークづくりの基盤づくりを行う。

【協働事業者紹介】

特定非営利活動法人運転免許取得支援センター

任意団体時を含め、約9年の活動実績のあるNPO法人。千葉県松戸市を本所に、東京都世田谷区、荒川区、宮城県仙台市に支所を持つ。障害者相談員支援員従事者や相談の内容に応じて専門家が対応する相談支援事業を中心に、教育関係、福祉作業所の支援を行っている。福祉作業所の商品のプロデュースをはじめ、大手ショッピングサイトなどに出店し、福祉作業所の商品販売支援なども行っている。

<http://www.for-dab.jp> <http://rakuten.co.jp/for-dab> ほか

《問合せ先》E-mail で kamikawa@for-dab.jp 神川・進藤まで 代表 TEL 03-5699-1613

協働事業

ユースボランティア育成を通じた、子ども会・子ども地域活動の担い手支援モデル事業	協働事業者	NPO 法人こばていー 子ども参画イニシアティブ
	事業担当課	青少年課

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

【松戸市の地域課題】

地域での人間関係が希薄化したことにより、親・先生以外の人間との交流の場・機会が減少しています。こうした全国的な傾向とあわせて、松戸市においても、子どもの地域活動の担い手の不足と、子ども会活動など地域活動の停滞を、子ども会への加入者数などのデータに見受けられます。

本事業テーマとして、子どもたちの豊かな育ちを実現するため、大きな柱である地域の中での人間関係の再構築を目指します。

【事業目的】

当NPOの持つボランティア育成・市民間協働のノウハウと、松戸市の情報ネットワークを生かし、NPOと子ども会が協力した地域子ども活動の活性化に取り組みます。

- 10代後半から20代を目安とした若者を、ユースボランティアとして育成
- ユースボランティアが子供会の活動に参画し、地域活動の担い手の負担を軽減する
- スキルをもったユースボランティアの参画によって、小学生の体験活動を豊かにする

の3点を目的とし、本事業をモデル事業として位置づけるため、10代・20代の「ユース」、各地で地域活動に取り組んでいる「単位子ども会」の二者へ呼びかけ、事業を実施します。

ユースボランティアの育成に関しては、年度前半で2期、講座を実施。レクリエーションブックの作成を実施し、成果を広く共有します。

子ども会に向けた活動としては単位子ども会・市子連のヒアリングを行い、並行して、ユースボランティアとのイベント実施に取り組みたい子ども会の募集をかけ、連携先を決めます。

モデル派遣先子ども会のイベントは、子ども会会員だけではなく地域の子どもたちが参加できるような体制をつくり、NPO 法人こばていがコーディネーター的立場として関わることで、地域の単位子ども会のニーズとユースボランティアの負担のバランスを取りながら進めていきます。



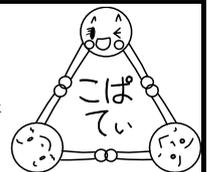
事業費	251,060円
自己資金	26,030円
(労力換算額: 199,000円)	
負担金	225,030円

平成22年度事業の目標

ユースボランティアの広報・育成として15名を目指し、2地域の子ども会と協働でイベントを実施します。また、イベントに参加した小学生の感想などから効果を測り、モデルイベントにおける子ども会未加入者との接点づくりを目指します。

【協働事業者紹介】 NPO 法人こばていー子ども参画イニシアティブ

子どもたち自身の「やりたい」という想いを、主に10代・20代のユースと一緒に実現する場を、地域社会に築くべく活動しています。活動や情報の受け手が子どもであることに留まらず、発信者も子どもが担う、子どもの社会参画を推進します。



＜主な事業＞公園あそび「あそぼう会」（毎月第3土曜・常盤平）

未成年投票「はちみつ選挙」（実際の選挙投票に併せて開催） ほか

《問合せ先》

■メールアドレス office@copatee.net

■ホームページ <http://www.copatee.net/>

■電話番号 047-386-1666 (担当: 小熊)

■FAX 386-1639

■所在地 松戸市常盤平2-9-5 長谷川ビル301 (訪問の際は事前にご連絡ください)

<p>あなたのまち カラーウォッチング事業</p>	<p>団体名</p>	<p>景観色彩を考える会・まつど</p>
-------------------------------	------------	----------------------

【事業内容】

<p>平成22年度事業の取り組み</p> <p>私達はこれまで、公共の色彩のあり方について、ウォッチングやシュミレーションなどを通じて勉強をし、松戸市民に発信してきました。一方、国では景観法が施行され、松戸市では平成21年3月に景観基本計画を策定し、平成21.22年の2カ年で、計画と条例を整備する段階へ景観行政が大きく進められる状況になってきました。この計画に市民の声が反映されてこそ、松戸らしい景観計画になると考えます。市民自らが市民への啓発を担っていくことは、市民・事業者・行政の理解と合意を作る上で、大変有効と考えるものです。</p> <p>私達はこの事業で、松戸市の景観基本計画の内容を学びながら、「色」を切り口にまちを見直す取り組みを実施します。ウォッチングは「意識して見る」「気付く」ということで大変有力な手法です。そして、広く市民の参加を呼びかけ、ワークショップを通して意識化をします。</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>124,000円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>43,900円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>80,100円</td> </tr> </table>	事業費	124,000円	自己資金	43,900円	助成金	80,100円
事業費	124,000円						
自己資金	43,900円						
助成金	80,100円						

平成22年度事業の目標

事業の内容、実施方法、スケジュール

- ・ 2010年7月17日 「好色・騒色」ぐるりまつど景観バスツアー 実施
- ・ 2010年11月16日(いい色の日)(予定) わが街 カラーウォッチングを実施
 - ※ 町会などと協働を追求して進めます。
 - ※ カラーウォッチング・ワークショップの参加を広く市民に呼びかけ、景観色彩レポート「ViewPoint」にまとめます

以上の取り組みを通して、カラーウォッチングを市民が、各地域で気軽に取り組むことができるという教訓が生まれます。景観色彩レポートはカラーウォッチング活動の生きたマニュアルとなります。今後の活動の自立に向け、工夫と努力を重ねていきます。

【事業者紹介】

1998年より「美しいまちなみ」を目指し、公的・私的の区別なく、公衆に触れる外部環境（公共の色彩）と景観の調和を考える市民活動を行っています。

《問合せ先》

代表者 高山 勉

〒270-2212 松戸市五香南 2-3-5 ベン・デザインオフィス内

TEL. 047-388-2471 FAX. 047-288-2472

<http://1116matsudo.web.fc2.com/> E-mail ben_takayama-1116@yahoo.co.jp

医療セミナー 事業	団体名	T e a m りぼん
-----------	-----	-------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

- ・「人と医療を結ぶ」をテーマにセミナー等を開催し、市民の皆さんへ病気や医療の正しい知識を広める。
- ・セミナーを利用し、がん検診の検診率の向上に貢献する。

事業費	135,610円
自己資金	35,610円
助成金	100,000円

上記目的のために年2回の医療セミナーを開催、またイベントに検診車を設置するよう努力する。

【実施スケジュール】

- ・平成22年度1回目のセミナー
6月12日(土)第4回医療セミナー 「がんを食生活から考える!!」
- 【場 所】森のホール21 大会議室
- 【時 間】14:00 ~ 15:30
- 【講 師】済陽 高穂 先生 (わたよう たかほ)
- 【参加費】100円

セミナー開催日に、森のホール21の駐車場にて「マンモグラフィ・エコー検診」を実施します。

【検診を受けたことがない方、仕事などでなかなか検診を受けられなかった方、検診のチャンスです】

★マンモグラフィ検診：1方向 3,150円 ・ 2方向 4,725円

★エコー検診：2,100円 ※検診は事前に予約をお願いします。検診だけのご参加もOKです。

【実施会社】：株式会社 日本医学研究所 (TBSピンクリボンプロジェクト協賛会社)

検診をご希望の方は下記連絡先までご連絡ください。

- ・平成22年度2回目のセミナー 開催日、講師などは未定
- ・松戸市民祭での検診車の設置

他

平成22年度事業の目標

- ・昨年と同様、より多くの方々にセミナーに参加して頂き、目的を達成すること
- ・セミナーの内容の充実

具体的には

- ・本年度開催する各セミナーで、100名以上の方々にご参加頂けるようにしてまいります。
- ・昨年よりも多くの方々に検診を受けていただけるよう、検診の大切さを啓発してまいります。
- ・市民の皆さんが、病気や医療に対して興味を持てるセミナーを開催してまいります。

【事業者紹介】

私達が想像している以上に、多くの人たちが病気や医療について正しい理解をされていないように感じます。TVやインターネットで容易に情報を取得できる時代でありながら何故でしょうか？それは情報をただ見ているだけ、読み流しているだけだからと考えます。それでは人の心に残らないのも無理ないことでしょう。やはり実際に行動して自分から獲得した情報の記憶には敵いません。自分自身で気づき、そして出来るだけ最新の情報を得て欲しくて、医療セミナーや検診車設置などを地道に行うこの団体を設立しました。

【T e a m りぼん】

松戸市上本郷1424-58 代表 富永 桂明

TEL:080-1310-1796 E-mail:team_ribbon@yahoo.co.jp

市民活動助成事業

<p>外出困難者と共に風の中へ</p>	<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 さわやか福祉の会 松戸くらしの 助っ人</p>
---------------------	------------	--

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

事業費	205,000円
自己資金	105,000円
助成金	100,000円

松戸市内では、高齢者の増加や障害者の中に車椅子の生活などで、外出する機会を得られない人達が増えております。そのような人達と共にリフト付大型バスで屋外に行き、風に吹かれる計画です。

有償在宅生活支援ボランティア団体として、協力者が車椅子の操作の場としての機会をとらえ体験してもらい、外出困難者がどのような思いを持ち、どのように接すればよいのか情報交換の場として良い機会であると思います。

平成22年度事業の目標

- ・ 高齢者や障害者の中の車椅子生活者で外出困難者を屋外に出て日帰りの旅行を楽しんでもらう。
- ・ 高齢者や障害者の介護されている家族の方にはその日は自由な時間を作ってやりたい。
- ・ 在宅生活支援ボランティア団体として、協力者には車椅子の操作を体験いただき利用者とのコミュニケーションを深めていただきたい。
- ・ 在宅生活支援ボランティア活動をより多くの人に知ってもらうことで、松戸市の市民の助け合いを通して、より住みやすい町になると信じています。

【事業者紹介】

1997年5月任意団体 有償在宅生活支援ボランティア さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人設立
2004年1月9日特定非営利活動法人（NPO）を取得。

“おしきせでない” “お金もうけでない” “お互いさまの気持ちで” をモットーに松戸市がより住みやすい町になるよう在宅生活支援活動を行う。

《問い合わせ先》 特定非営利活動法人 さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人

代表 松下 明子

TEL&FAX 047-340-3314

市民活動助成事業

芸術による認知症予防 及び 進行抑制の為の事業と、子どもの豊かな感性を育む為の事業	団体名	クリニカルアートをひろげる会
---	-----	----------------

<p>平成22年度事業の取り組み</p> <p>独自のアートカリキュラムに沿って創作活動を行なうことで、認知症の症状改善を目的として開発された『臨床美術（クリニカルアート）』を必要としている人達に、受けやすい費用で参加できる環境を作る事が申請の第1の理由であった。また、身体に障がいがある方でも参加しやすい身近な公共施設等で受けられる環境をつくる事なども申請の理由として挙げている。</p> <p><u>高齢者施設でのボランティア活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設や有料老人ホームで、入居者向けに臨床美術を実施。 現在2施設で定期（毎月1施設につき1回。1ヶ月で合計2回）・他の1施設で不定期で実施中。 <p><u>公共施設等で行う活動（認知症予防・進行抑制の為の取り組み）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸駅周辺の公共施設で毎月1回例会でアート制作のワークショップを開催。（毎月第2土曜日） ・市内の診療所会議室をお借りして毎月1回例会でアート制作のワークショップを開催。（毎月第3木曜日 5月より開始） ・どちらの例会でも同月は同じ作品を制作。参加者は都合のよい日に参加可能。制作内容は月替り。 <p><u>その他の活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの為のボランティア団体『東部こどもまつり』の例会に参加して、子ども達に臨床美術を提供。 ・夏休みに子供向けのワークショップ『かぼちゃの立体工作』を実施。 ・その他、作品展やワークショップなどを予定。施設や団体向けのボランティア活動は要望に応じ随時行う予定。 	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>182,000円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>82,000円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>	事業費	182,000円	自己資金	82,000円	助成金	100,000円
事業費	182,000円						
自己資金	82,000円						
助成金	100,000円						
<p>平成22年度事業の目標</p> <p>①<u>クリニカルアートの実施</u> 認知症の症状で悩み苦しむ要介護者や、それを支える家族が、地元で気軽に認知症の予防、抑制効果があるとされるクリニカルアートをうけられる環境を作ること。</p> <p>②<u>クリニカルアートの広報活動</u> 地域の人々に、認知症の予防や進行抑制に効果があるとされるクリニカルアートという芸術療法があるという事を知っていただく事。</p> <p>③<u>子ども達への感性教育</u> クリニカルアートを子ども達にも提供し、子どもの発想力を伸ばしたり、感性を豊かにし、情操教育や感性教育に貢献する事。</p>							
<p>【事業者紹介】 2009年8月発足。臨床美術（クリニカルアート）の素晴らしさを多くの方に知っていただき、それを行なう事で、健康で豊かな社会や街づくりに貢献する事を目指している。</p> <p>会員制の活動の他、高齢者施設向けの活動、子ども団体のイベントなどに出向くなどしている。</p> <p>本格的でなおかつ安全性の高い画材を使用する為、材料費の確保は会の運営にとっても重大な課題であり、有償のボランティア活動をしてその費用に充てている。</p> <p>2010年6月には常盤平在宅介護支援センター主催の『介護予防教室』にも参加する。</p> <p>日本臨床美術協会の認定資格を持った有志の『臨床美術士』が会員となり、参加者の絵画造形制作のサポートを行なっている。</p> <p>《問合せ先》 クリニカルアートをひろげる会 代表 村井眞理</p> <p>TEL 090-8859-1654 (9:00~21:00)</p> <p>Eメール: spzz7b89@swan.ocn.ne.jp</p>							

<p>子育ての根っこを育てよう！ 親子広場「風の子ルーム」</p>	<p>団体名</p>	<p>NPO 法人 風の子サークル</p>
---------------------------------------	------------	-----------------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

事業費	160,000円
自己資金	60,000円
助成金	100,000円

[目的]

私たち「風の子ルーム」は、ひろばに来館する親子同士がつながりを持ち、子育てに係わる喜び、不安や悩みなどを共感しあえるような、仲間作りを支援してきました。また、「子どもがいるからこそ」という前向きな視点から、こどもと一緒に「やりたいこと」を利用者に企画～実現してもらう中で、企画者であるお母さんたちは、周りの親子も巻き込んでその輪を広げ、たくさんの目でわが子を含めたこどもたちを見守り育むという、ひろば作りの一役を担ってくれました。

今年度はさらにお母さんの子育て力を強めるため、以下の目的をもって、通常のひろばの他に定期的に集う年齢別の会を開催します。

- ・成長に合わせた疑問や不安などをさらに深く共有し、みんなで考えられる場としたい。
- ・「やりたいこと」が子どもの成長段階に合わせやすくなることで大きな取り組みをしたい。
- ・年齢に合わせた遊びやわらべうたを通して、こどもたちは安心できる大人たちの目の中で、その年齢に応じたかかわり方を学びながら成長し、その成長をみんなで喜び合える場としたい。

[スケジュール]

0歳児のひろば「ママとあかちゃんのふれあいカフェ」隔週で開催

概ね1歳児対象「あひるクラブ」月に1回開催

概ね2,3歳児対象「こぶたクラブ」月に1回開催



[内容]

- ・年齢に応じた親子のふれあい遊び、わらべうた、こども同士のわらべ歌、集団遊び、工作など
- ・講座 「絵本講座」「今なぜわらべうた? わらべうたで育つもの」「リトミック」(予定)
- ・座談会「子育てする力を高めよう」「仲間づくりあげるイベント」「子育てを仲間で楽しもう」など

平成22年度事業の目標

このひろばで育んだ仲間作り、わが子だけではなく周りの子も含めた子育てを学び合ったお母さんたちは幼稚園、小学校へと進む中で、子どもたちにとってよりよい社会を作るためにできることを前向きに考え、行動してくれることと思います。そういうお母さんたちが増えることによって、学校も地域も活性化し、たくさんの目で見守られる安心できる地域作りができると思います。また、そのこどもたちも地域で活躍する親の背中を見て育ち、思いやりのある、人と人とのつながりを大事にする人材が育ち、地域を担っていってくれることと思います。

【事業者紹介】

NPO 法人 風の子サークル

平成元年に育児サークルとして西馬橋地区に発足。以来、サークルで培った子育て、親子遊びなどのノウハウを、サークル以外の親子、子育て支援関係者にも、様々なかたちで広く発信し続け、平成20年にNPO法人になりました。スタッフのほとんどはこの育児サークルでわが子を育てたお母さん達です。

「親子広場 風の子ルーム」は、新松戸子育て協議会の事業として3年目になります。

《問合せ先》080-1095-5464 月～金 10～18時 長谷川

<http://kazenoko-circle.com>

市民活動助成事業

小浜屋敷の森 保全育成事業	団体名	松戸里やま応援団「小浜の森の会」
---------------	-----	------------------

【事業内容】

<p>平成22年度事業の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 樹林内に投棄されたゴミの収集・処理を継続する。 2) 枯れ木・倒木・不要木を処理する。 3) テングス病に侵された真竹を伐採し、真竹林の整備・再生に取り組む。 4) 小浜屋敷の森の特性を知るために、樹木・草花の植生調査を実施し、これに基づいて森の将来像を策定する。 5) 広場、物置など活動の拠点を整備する。 6) 近隣住居者はじめここを訪れる人に、活動内容を理解してもらうための広報掲示板を設置する。活動記録を継続的に掲示し、事業の状況を知ってもらうとともに、賛同者の参加募集を行う。 7) 安全作業とスキルアップのため、技術面・知識面の講習会、里山保全に関する勉強会等に参加する。 	事業費	128,000円
	自己資金	28,000円
	助成金	100,000円

<p>平成22年度事業の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 森の測量・植生調査を行って環境状態を把握し、これに基づいて森の将来像（利用目的・目標林型）を策定する。 2) 未整備部分の解消を進めるとともに散策路の整備を行ない、秋には森の散策会を実施する。 3) 当地区の生態系維持を基本に、四季の変化を一層実感できるような植樹を行う。
--

【事業者紹介】

松戸里やま応援団「小浜の森の会」は、松戸市における「里やまボランティア入門講座 2008」を受講した13名（男性10名・女性3名）で昨年4月に立ち上げました。6月にフィールドが「小浜屋敷の森」に決まり、実質7月から整備活動を行って来ました。今年4月に市川市在住の方1名を新会員として迎え、メンバーは14名となりました。

フィールド住所は、松戸市高塚新田93-1。活動日は毎月第2金曜日と第4木曜日の月2回。

10時～13時を基本として活動しています。臨時の活動日もあります。

手を入れた分は成果として実感でき、森の中での昼食をとりながらのミーティングを楽しんでいます。

また、松戸里やま応援団6グループはじめ、緑や環境保全に関わっているグループとの協力関係を築いて行きたいと行動しています。

会を立ち上げて2年目を迎えたばかりのグループですが、興味を持たれた方の新会員募集を行っています。体験参加も歓迎します。下記までご連絡ください。

《問合せ先》 松戸里やま応援団「小浜の森の会」

事務局／担当 松田 携帯：090-4436-0428

市民活動助成事業

<p>Jキッズ子どもまつり</p>	<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 子どもの環境を守る会 Jワールド</p>
-------------------	------------	---------------------------------------

【事業内容】

<p>平成22年度事業の取り組み</p> <p>開催日時：2010年7月3日(土) 10:00~13:00</p> <p>開催場所：新松戸 SRC ビル 2階・3階・及びプレイスールひかりの子 内容：子どもたちの考えたゲームや、模擬店を開催する。 ゲーム券を100円で購入していただき、収益金の一部を国際飢餓対策機構へ寄付する。</p> <p>詳細：小学生の子どもたちが内容やルールを決め、用意したゲームを開催。それぞれのブースを子ども達が担当し、地域の方に楽しんでいただく。 また、中学生や高校生から、社会人、高齢者にいたるまでボランティアとして協力していただき、異年齢間での交流の場とする。 今年初の試みとして模擬店を行う。(わたあめや焼きそばなど。)保護者の方や地域の方にも協力していただく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>90,000円</td> </tr> </table>	事業費	100,000円	自己資金	10,000円	助成金	90,000円
事業費	100,000円						
自己資金	10,000円						
助成金	90,000円						

平成22年度事業の目標

- ・目標受益者人数100名(平成20年度の2倍)を目標とする。
- ・またこの事業を通して登録人数を増やし、さらなる内容の充実と活性化につなげる。
異年齢の交流の場として地域の方々に楽しんでいただくと共に、Jキッズの活動をさらに地域の方に知っていただく。
- ・3世代交流の場を広げ、さらに地域に貢献していきたい。

【事業者紹介】

特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド
Jキッズ

住所：松戸市新松戸4-257-1 ニューホームズ 第1マンション1階
電話：047-346-3345(Jワールド)
090-3575-7939(野中)
080-1059-5344(山岸)

《問合せ先》 (連絡方法(電話番号など)、連絡者名をご記入ください。)

市民活動助成事業

生活に役立つ「暮らしとお金」の セミナーと相談会	団体名	松戸生活やくだちたい
-----------------------------	-----	------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

人生80歳超の時代、「長生きを前提にした生活設計」が必要不可欠ですが、社会制度が充実する一方で年金・医療・介護の費用や給付は複雑となり、生活設計が難しくなってきました。

松戸生活やくだちたいは、生活に夢と目標を持っていて「暮らしとお金」の設計の知識と手段が必要な人に、

「日常の家計管理」を切り口として住宅ローンなどを含めた資産・負債管理、老後の生活設計、年金・仕事と生活のバランス、医療・保険など病気・事故への備え、相続についてセミナーを開催し、質問に答える形で相談会を予定します。

この啓発活動を通して松戸市民の夢と目標の実現をサポートに取り組んで行くつもりです。

事業費	244,000円
自己資金	144,000円
助成金	100,000円

平成22年度事業の目標

「暮らしとお金」についての1日セミナーを松戸市内で年間3回の開催を通して、来場者のテーマと満足度を確認すると同時に

- ①最終会の参加者20人
- ②松戸でのセミナー・相談会開催のノウハウ取得
- ③来年度以降の自主運営の目処

を目標としています。

【事業者紹介】

松戸生活やくだちたいは

松戸市で活躍するFP（ファイナンシャル・プランナー）が、自分達の知識・経験・技能を生かし、少しでも松戸市民のお役に立ちたいとの思いから平成21年に集まった10人のグループです。

連絡先 tel&fax 047-341-3021 松戸生活やくだちたい

市民活動助成事業

たすけあい・よろず相談員制度 の必要性調査	団体名	特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど
--------------------------	-----	------------------------------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み		事業費 122,000円		
1 調査事業の推進		自己資金 22,000円		
(1) 調査目的		助成金 100,000円		
<p>・高齢独居者・認知症者・重度障害者等の「判断力・理解力不足の人」の方々が「自分一人で判断・処理出来ない人達に対して、行政手続き等のサポートや福祉・医療の相談にのる事が出来る（総合的なたすけあい・よろず相談員）の制度が必要とされる事」を調査する。</p> <p>・縦割り行政に即したバラバラな相談体制から窓口を一本化する事による社会コスト削減の可能性調査。</p>				
(2) 調査の進め方				
	調査対象	対象数	調査方法	調査内容
1	NPO法人たすけあいの会 ふれあいネットまつどの会員	200	面接 & アンケート	・相談毎の種類・内容等困った時の対処は？
2	サンプリング 市民センターなど	50～ 80	面接	・行政・福祉・医療等の手続き書類に如何に対処しているか？
3	配食サービスを受けている人 高齢者単独世帯	100人	面接 & アンケート	

平成22年度事業の目標

1 此の調査から見えて来るもの（以下のデータが取得出来ればとの期待です）

- ・地域での包括的相談援助活動の必要性
- ・たすけあい・よろず相談員像が明らかに



誰もがその人らしく、すみなれた地域で安心して暮らせる地域社会づくりとコミュニティ活動の展望が見えてくる。



ご用聞き
単一化（窓口の一本化）と総合コーディネーター

【事業者紹介】

基本理念：「困ったときはお互いさま」を基本に、ハンディキャップのあるなしにかかわらず、人と人がたすけあい、支え合う、ふれあい溢れる地域社会を目指します。

- 主な活動：①たすけあい活動（移動サービス-福祉有償運送、生活援助サービス、施設サービス）
②施設ボランティア活動
③制度サービス（介護保険一居宅介護支援・訪問介護
障害福祉サービス介護・重度訪問介護・移動支援）

《問合せ先》 TEL：047-346-0866 FAX：047-346-2068
E:Mail fnm2011@r4.dion.ne.jp
URL http://www.k5.dion.ne.jp/~fnm2011/

市民活動助成事業

手作り甲冑普及事業	団体名	松戸手作り甲冑愛好会
-----------	-----	------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

事業費	180,000円
自己資金	80,000円
助成金	100,000円

平成22年度は、「手作り甲冑愛好会」としての実質的な活動の初年度として、以下のような取り組みを開始し、また予定しているところ
です。

1. 手作り甲冑講習会の開催
 - ・平成22年3月15日の「広報まつど」を通じて、講習会の受講者を募集。
 - ・応募があった5人と、昨年兜だけを作り今回鎧の制作を行う3人の計8人を対象に、4月8日から講習会を開始。
 - ・6月までに月4日、延べ12日で兜の制作を行う。
 - ・その後7月から10月までで鎧の制作を行い完成させる。
2. 手作り甲冑のPR等
 - ・5月3日 戸定が丘歴史公園内の松雲亭において、喫茶「カフェ甲冑」を催し、制作した甲冑を展示して手作り甲冑のPRを行った。
3. 松戸市のイベントへの参加
 - ・松戸まつりへの参加について、どのような形でできるかを検討し、参加に向け努力する。
 - ・このほか、戸定が丘歴史館のイベントに積極的に参加して行く。

平成22年度事業の目標

- ・ 各種イベントへの参加など、今後の会の活動を広げるためには会の手持ち甲冑の領数を増やすことが不可欠である。
平成22年度においては、講習会の開催等により手作り甲冑の普及を図るとともに、助成金をより有効に活用した愛好会所有の甲冑領数の増加を図ることとする。

【事業者紹介】

「松戸手作り甲冑愛好会」は、楽しく甲冑を手作りすることを通じて手作り甲冑の普及を図るとともに、松戸市の各種イベントに甲冑行列などで参加できるようにすることにより、松戸市の観光に役立てることを目的として平成21年8月に設立しました。

平成22年度は活動初年度でありまだ手探りの部分もありますが、目的達成に向けて発展させていきたいと思っています。

《問合せ先》 会長 高橋 貴美子 電話 047-363-5058

《問合せ先》 (連絡方法(電話番号など)、連絡者名をご記入ください。)

手と手で話そう	団体名	NPO 法人子どもっとまつど
---------	-----	----------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

人と人とのつながりが希薄になっている現在、障害や病気に対しての理解も乏しくなっています。子どもたちからの様々な人との出会いが、想像力・表現力・豊かなコミュニケーション能力を養います。なかでも文化と芸術の世界は、障害者と健常者の垣根を低くさせる場でもあります。障害者と健常者で取り組む表現者との出会いが、人と人が自然に関われる環境をつくり、誰もが生き生きと暮らしてゆける社会につながる第一歩と考えます。

事業費	135,000円
自己資金	35,000円
助成金	100,000円

日本で唯一ろう者(耳が聞こえない人)と聴者(聞こえる人)が協力して公演活動を行っている人形劇団、「デフ・パペットシアター・ひとみ」から講師を招きワークショップ「手と手で話そう」と「夏休み手話教室」を開催、11月の青少年会館の文化祭で発表会を行う予定。

○4月 講師のデフパペットシアターひとみ代表の善岡修氏と打ち合わせ

○5月 夏休み手話教室の講師(手話サークルゆうかり<予定>)と打ち合わせ

○7月11日(日) 14時から15時30分

◆講師 善岡 修(デフ・パペットシアターひとみ 代表)

よしおか・おさむさんは、ろう者の(耳が聞こえない)人形劇の俳優さんです

◆内容 人と意思を伝え合う時に大切なことを、体を使ったあそびをしながら体験できるワークショップです

◆会場 ふれあい22(健康福祉会館)研修室1・2(3F)

◆対象 小学生、中学生(親子でも参加できます)

◆参加費 500円(一人) ◆定員 30人

○8月 夏休み手話教室を開催 ○11月 発表会

平成22年度事業の目標

障害者への理解を深めるためにも、第1回目のワークショップ2回目の手話教室3回目の発表会まで継続的に関わる参加者を増すために努力したいと思います。

地元で活動する手話サークルとの関わりも、これを機会に今後の活動につなげられるものになりたいと考えています。

今回の事業を契機に、いろいろな表現活動を行っている障害者と子どもたちとの出会いの場も作っていきと考えています。

【事業者紹介】

子どもは、感動する体験や、豊かな自然体験や、地域社会の中での、さまざまな人とのふれあいのなかでこそ、心豊かに育つものと考えます。豊かな子ども時代を子どもと大人が一緒になってつくっていきます。

●子育てをたのしもう!・・・おやこの広場るーぷる・子育て広場・こどもっと

●鑑賞+ワークショップ・・・てんじん劇場・人形劇の公演・落語の口演など多数

●自然体験・ものづくり体験・・・陶芸教室・自然創作アート教室など

●多世代交流・みんな子育て・・・三世代交流「まちなか劇場」

〒270-2261 松戸市常盤平 2-9-5 長谷川ビル 301 TEL/FAX:047-386-9154 npo-mk@cd.wakwak.com

市民活動助成事業

八ヶ崎の森再生整備事業	団体名	松戸里やま応援団 一起の会
-------------	-----	------------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

事業費	197,000円
自己資金	97,000円
助成金	100,000円

自然に近い都市樹林を目指し、5年かけて整備してきた八ヶ崎の森。自然観察路や観察ゾーンも設置し、近隣の幼児を森に招待し楽しんでもらってきました。しかし、業者の手によって2008年末に住宅隣接部分がバッサリ切られてしまい、斜面林部分が丸坊主になった。地権者もあつけにとられる事態となったのでした。切られた幹や枝葉は放置されたままで、傾斜地の崩落も始まり、ツル性植物もはびこり、防災・防犯上も問題になってきている。この跡地を整備し、森として再生を図る。

平成22年度事業の目標

現在、放置され散乱している幹や枝を片付けながら、斜面の土留めをするとともに、森再生のために欠かせない植林スペースを作る努力をしている。もちろん今年中に全部できるわけではないが、どんな風に森を再生しようとしているのかがイメージできるテスト部分だけは完成させて、地域の人たち、里やま応援団ボランティアの仲間、過去に森へ遊びに招待した子供たちに呼びかけて、今年中（できれば秋）に植樹イベントを実施できるところまで持っていくことを目標にしている。

【事業者紹介】

里やま応援団は2003年に松戸市みどり推進委員会が主催して行われた「里やまボランティア入門講座」の修了生によって、2004年につくられた。先祖から受け継いだ森を森として子供たちに残したいと思いつつ、管理し切れなくて困っている地権者さんから森を預かり手入れをしてきた。それ以降、みどりと花の課と市民ボランティアが協同で毎年「里やまボランティア入門講座」を開き、修了生は皆、里やま応援団のグループを立ち上げてきた。グループが増え、ややこしくなって「里やま応援団 一起の会」に改称したものの。

《問合せ先》 高木 喜久雄 電話&FAX : 047-368-1272

市民活動助成事業

まちづくりコラボサロン事業	団体名	まつどサロンネットワーク
---------------	-----	--------------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

①立ち上げイベント

田中優氏講演会 「社会と自分の『常識』を変えるヒント」

6月25日（金）18：30～21：00

【場所】ゆうまつど ホール

【内容】今ある社会と自分の、これまで常識としてきたものを検証し、これから新しい生き方や社会の在り方を模索していこうという内容。社会のお金の流れ方、次世代に手渡す環境、自分を活かす、ということの意味など考える。

事業費	215,000円
自己資金	115,000円
助成金	100,000円

②定期的なサロン開催

月に1～2回のサロン会議をおこなう。（年間20回程度を目安）

自分で興してみたいこと、活動の相談、

互いの活動のアドバイス、その中から協働できそうな活動があれば取り上げて実施を検討する。サロンの20回のうち、ゲストスピーカーを呼んで開催するものを8回以内程度、実施する。

【場所】基本は市の公共施設、内容に応じて市内の施設などを考える。

③成果発表会

年度末に4月以降の活動の総括となるような活動の成果発表イベント（サロン）をおこなう場所、形式等は未定。

④情報のネットワーク化

ゲストを呼んでおこなった講演や、サロン内でのやり取り、企画の進行状態、活動の紹介等を情報誌にまとめて、配布する。（隔月程度）

その他ブログ等で活動内容や企画進行状況などを発信する。

成22年度事業の目標

- ①活動をしたい人同士の交流、ネットワークを作る
- ②サロンの中からの活動を企画、そこからの広がりをねらいとする
- ③情報発信の形を整える

【事業者紹介】まつどサロンネットワーク

松戸に住む人たちが感じ、解決したいと考えている問題に自らの手で取り組むネットワークを作りたい、そんな志を持つコーディネーターや活動経験者でサロンを始めた団体です。

《問合せ先》TEL 090-9857-9158 桑田

E-mail machidukurikorabo@yahoo.co.jp(桑田)

松戸のアートな場所 マップの制作事業	団体名	松風の会
-----------------------	-----	------

【事業内容】

平成22年度事業の取り組み

まつどにアートな場所はどれくらいあるの??

『まつどアート心探索MAP』をつくる

事業費	152,550円
自己資金	52,550円
助成金	100,000円

人口48万の都市となった松戸市に、いま一番必要なのは人と人の心のふれ合いです。団塊の世代がリタイヤし、ようやく松戸都民から松戸市民として多くの人が自覚し始めました。この地に生涯住み続けていくために、まず身近な暮らしを豊かな文化の土壌にし、自らのアートが生まれるような環境作りをしていくことが大切です。昨年、上野から始まる常磐線の芸大キャンパスラインの活性化を目指したJOBANアートライン協議会が設立され、今まで点であった文化拠点が線で結びつこうとしています。また、市内には多くのアーティストが在住し、個人のギャラリー等があることがあまり知られていません。アートに関わる場所やアートを通してまちを元気にする試みをアート心として、それらの存在を広く知ってもらう為に、市内のギャラリーやアートスポットを紹介するMAPが必要だと考えます。行政まかせにせず、市民も参画した協働のまち作りを目指すために、市民が身近に楽しむことの出来るアートスポットの紹介をし、MAPを活用したイベントツアーの開催やワークショップの開催などを通して松戸の魅力を再発見し、心のふれ合うまち作りをすすめて行きたいと考えます。

平成22年度事業の目標

- 4月～
既存の博物館、美術館を含めた市内のギャラリー、工房、市内在住のアーティストの調査
- 6月～7月
MAPの原案作り
- 8月～
MAP発注、完成
- 9月～2011年3月
MAP配布開始。各地域でMAPを使ったアートイベントツアーの開催、ワークショップや講座の開催

【事業者紹介】

松風の会は、2008年に松戸出身や松戸在住のアーティストが自らイベントを企画・実施し子育て中の若い世代や高齢者を含む市民全体が身近にアートを楽しむ機会を作りたいと結成しました。「暮らし」に根づいた文化活動を地域資源を活かして展開させたいと考えています。松戸で生まれた新しい表現活動を市内外に広く公開し、市民のふるさとへの誇りと潜在的な力を引き出していきたいと活動しています。

☆おすすめの情報お寄せください☆

《問合せ先》松風の会
e-mail:matsukazenokai@gmail.com 090-9846-5106 (ヒナサト) FAX047-386-8888

市民活動助成事業

「もったいないツアー」	団体名	松戸市政モニターOB「花草会」
-------------	-----	-----------------

【事業内容】

<p>平成22年度事業の取り組み</p> <p>1. 「もったいない運動」講演会の開催 (講演会)「松戸市もったいない運動の推進」と 「もったいないから」はじめよう! (講師)もったいない運動推進の関係団体 (開催場所)ゆうまつど(4階ホール) (実施予定)平成22年7月20日(火)</p> <p>2. 花草会の「もったいないツアー」の実施 (ツアー内容)企業見学 (定員)25名(マイクロバス利用) (実施予定)平成22年10月頃</p> <p>3. 「もったいない運動」を体験する講座の開催 (講座内容)「もったいない運動」を体験する講座 (開催場所)ゆうまつど(4階ホール)</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>190,000円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>91,000円</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>99,000円</td> </tr> </table>	事業費	190,000円	自己資金	91,000円	助成金	99,000円
事業費	190,000円						
自己資金	91,000円						
助成金	99,000円						

平成22年度事業の目標

現在、松戸市が推進している「もったいない運動」は、啓蒙・啓発運動が主体となっている。そこで、花草会の「もったいない運動」は、理念から実行可能な行動として定着させることを当面の活動目標として取り組む企画である。

具体的には、「学び・見学・体験」を織り込んだ『もったいないツアー』を実施することで、松戸市の多くの方々、特に各家庭で「もったいない運動」として何をすべきかを考えてもらいます。

まず、「学び」は、松戸市もったいない運動の講演会から学ぶ。

「見学」は、身近な「もったいない＝3R(リサイクル、リユース、リデュース)を実践している」企業や施設等を見学して、学びを行動に変えるためのツアーを実施する。

「体験」は、実際に「もったいない運動」を体験出来る講座を開催して、各家庭でも実践してもらえるキッカケとする。

将来的には、この活動が多くの松戸市民に定着することで、「もったいない運動」の具体的な活動として盛り上がっていくことを願っています。

【事業者紹介】

昭和45年に開始された「松戸市政モニター制度」のモニター経験者が集って、昭和62年にOB会が発足しました。以来20年余、「会員相互の研修と親睦を図り、松戸市政の理解と協力を深めて地域の発展と住民福祉の向上に寄与する」(発足時の活動趣旨)ことを目的として活動しています。

昨年の20周年記念の総会で「もったいない運動の展開」を決定しました。その後、協賛団体に加盟して積極的に「もったいない運動を実践」すべく、今年度の助成金事業として実施するにいたっています。

(会員数:30名)

《問合せ先》 (電話:387-6773、FAX:387-7890、村田富子)



平成22年5月

発行 松戸市 市民環境本部 市民担当部 協働推進課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7062

FAX 047-366-2447

E-mail mckyoudou@city.matsudo.chiba.jp